

イスラームの学習②



名前

トナラ-4の練習

2

名前：

学年：

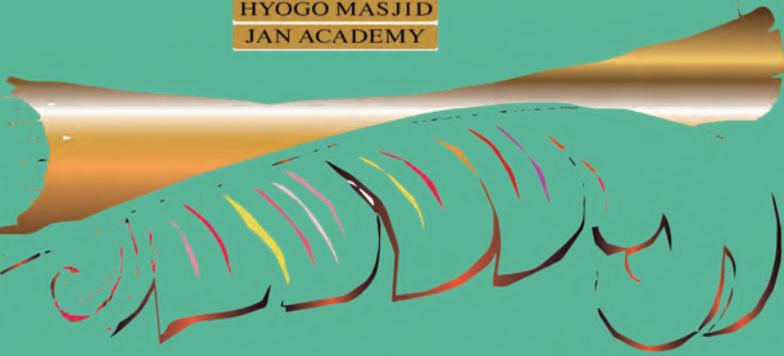
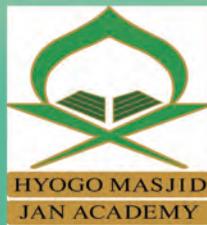
書籍詳細

本の名前: イスラームの学習2

著作権: 兵庫マシジド

第1版: 2023年4月(非売品)

発行 : 兵庫マシジド ジャンアカデミー
〒651-0067
兵庫県神戸市中央区神若通5丁目3-15
HYOGO MASJID JAN ACADEMY
5-3-15, Kamiwakadori, Chuo-ku, Kobe.
Postal Code: 651-0067
Tel: 078-271-2050 / Fax: 078-271-2049





01

アキーダ

ページ:

04 ~ 33

03

ハディース

ページ:

62 ~ 93

02

タフスィール

ページ:

34 ~ 61

04

ドゥアー

ページ:

94 ~ 143

勉強を始める前のドゥアー



أَعُوذُ بِاللَّهِ مِنَ الشَّيْطَانِ الرَّجِيمِ.

アウーズビッラーヒ ミナッシャイターニッラジーム

「私^{わたし}はアッラーに、呪^{のろ}われたシャイターン
からのご加^か護^ごを求^{もと}めます。」

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ.

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

「慈^じ悲^ひあまねく慈^じ愛^{あい}深^{ぶか}きアッラーの御^み名^なにおいて。」

رَبِّ اشْرَحْ لِي صَدْرِي، وَيَسِّرْ لِي أَمْرِي، وَاحْلُلْ عُقْدَةً مِّنْ
لِّسَانِي، يَفْقَهُوا قَوْلِي.

ラビッシュラフリーサドゥリー ワヤッスィルリーアムリー
ワフルルウクダタン ミンリサーニー ヤフカフーカウリー

「我^わが主^{しゅ}よ、私^{わたし}の胸^{むね}を広^{ひろ}げ、我^わが任^{にんむ}務^むを、私^{わたし}のため
容^{よう}易^いにし、私^{わたし}の舌^{した}のもつれを解^といてください。

そうすれば、彼^{かれ}らは私^{わたし}の言^{こと}ば^ばを理^り解^{かい}しまししょう。」

رَبِّ زِدْنِي عِلْمًا ، وَارْزُقْنِي فَهْمًا .

ラビズィドゥニーイルマー ワルズクニーファフマー

「我が主よ、私の知識を増やして、よく理解させてください。」

رَبِّ يَسِّرْ وَلَا تُعَسِّرْ وَتَمِّمْ بِالْخَيْرِ .

ラビヤッスィル ワラートゥアッシル ワタンミム ビルハイル

「我が主よ、簡単にし、難しくしないでください。」

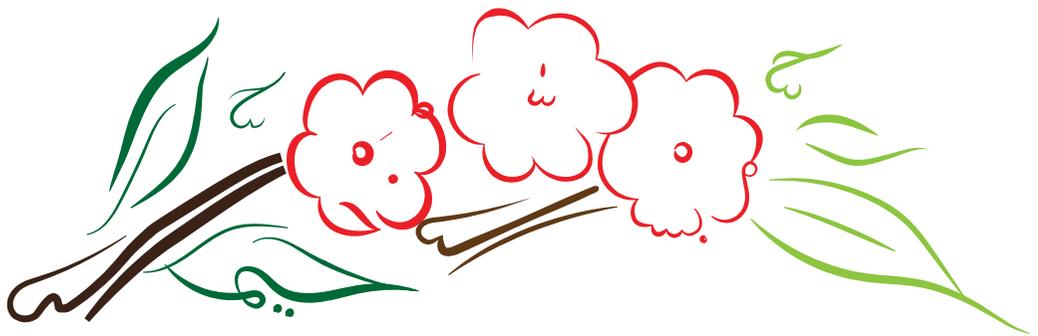
「良いことで終わらせてください。」

اللَّهُمَّ لَا سَهْلَ إِلَّا مَا جَعَلْتَهُ سَهْلًا ، وَأَنْتَ تَجْعَلُ الْحَزْنَ إِذَا شِئْتَ سَهْلًا .

アッラーフンマラーサフラ イッラーマージャアルタフーサフラ
ワアントタジュアルルハズナ イザーシウタサフラ

「アッラーよ、あなたが容易くしたことだけが
容易くなるのです。」

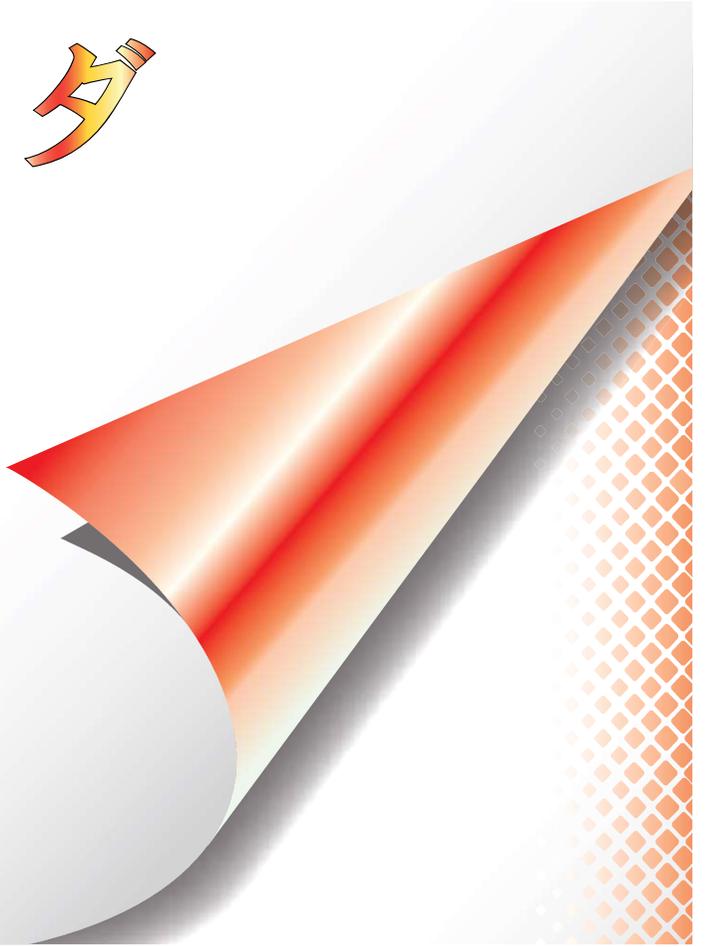
「あなたが望めば悲しみも容易くなります。」





بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
آ
ك
ي
ر
د
ا

العقيدة



せつめい
イーマーンの説明

➤ イーマーン・ムジュマル ➤

أَمَنْتُ بِاللَّهِ كَمَا هُوَ بِأَسْمَائِهِ وَصِفَاتِهِ وَقَبِلْتُ جَمِيعَ أَحْكَامِهِ.

アーマントゥビッラーヒ カマーワフ ビアスマーイヒー

ワスィファーティヒー ワカビルトゥジャミーア アフカーミヒー

わたし
「私 はアッラーのことを、かれの(全ての)名前や性質のまま信じ、
かれ
彼のあらゆる命令を受け入れました。」
すべ なまえ せいしつ しん
めいれい う い



➤ イーマーン・ムファッサル ➤

أَمَنْتُ بِاللَّهِ وَمَلَائِكَتِهِ وَكُتُبِهِ وَرُسُلِهِ وَالْيَوْمِ الْآخِرِ وَالْقَدَرِ

خَيْرِهِ وَشَرِّهِ مِنَ اللَّهِ تَعَالَى وَالْبَعْثِ بَعْدَ الْمَوْتِ.

アーマントゥビッラーヒ ワマラーイカティヒー

ワクトゥビヒー ワルスルヒー ワルヤウミルアーヒリ

ワルカドゥリハイリヒー ワシャッリヒーミナッラーヒタアーラー

ワルバアシ バアダルマウティ

わたし
「私 はアッラーを信じ、天使たち、啓典、使徒たち、審判の日を信じ、
よ
良いことも悪いこともあらかじめアッラーによって宿命づけら
れ
れているのだということを信じ、死後の生命(復活)を信じます。」
しん てんし けいてん し と しんばん ひ しん
しん し ご せいめい ふっかつ しん

6つのカリマ

カリマ その1—カリマ・タイイバ

لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ، مُحَمَّدٌ رَّسُولُ اللَّهِ.

ラー イラーハ イッラッラーフ ムハンマド ラスールッラー

「アッラーの他に神（崇拝するもの）はない、ムハンマド様

（サッラッラーフ アライヒ）はアッラーの使徒である。」



カリマ その2—カリマ・シャハーダ

أَشْهَدُ أَنْ لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ، وَأَشْهَدُ أَنَّ مُحَمَّدًا عَبْدُهُ وَرَسُولُهُ.

アシュハドゥ アッラー イラーハ イッラッラーフ

ワ アシュハドゥ アンナ ムハンマダン アブドゥッー ワラスールフー

「私は、アッラーの他に神（崇拝するもの）はないことを証言し

ます。そして私は、ムハンマド様（サッラッラーフ アライヒ）がアッラーの

僕であり、使徒であることを証言します。」



سُبْحَانَ اللَّهِ، وَالْحَمْدُ لِلَّهِ، وَلَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ، وَاللَّهُ أَكْبَرُ، وَلَا

حَوْلَ وَلَا قُوَّةَ إِلَّا بِاللَّهِ الْعَلِيِّ الْعَظِيمِ.

スブハーナッラーヒ ワルハムドゥリッラーヒ ワラー イラーハ
イッラッラーフ ワッラーフ アクバル ワラー ハウラ ワラー
クワワタ イッラー ビッラーヒルアリーイルアズィーム

「アッラーに讃えあれ、アッラーにこそ称讃あれ、アッラーの他に

神(崇拝するもの)はない、アッラーは偉大なり。また、至高至大の

アッラーの他にいかなる威力も強大なるものもありません。」



لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ وَحْدَهُ لَا شَرِيكَ لَهُ، لَهُ الْمُلْكُ وَلَهُ الْحَمْدُ يُحْيِي

وَيُمِيتُ وَهُوَ حَيٌّ لَا يَمُوتُ، بِيَدِهِ الْخَيْرُ، وَهُوَ عَلَى كُلِّ

شَيْءٍ قَدِيرٌ.

ラー イラーハ イッラッラーフ ワフダフー ラー シャリーカ ラフー ラフルムルク
ワラフルハムドゥ ユフィー ワユミートゥ ワフワ ハイユッラーヤムートゥ
ビヤディヒルハイル ワフワ アラー クリィ シャイイン カディール

「唯一なる御方、アッラーの他に神(崇拝するもの)はなく、かれに並

もの おうけん しょうさん
ぶ者はいない。かれにこそ王権はあり、かれにこそ称讃はある。

い し かた い し み て ぜん
生かし死なすお方。かれは生きていて死なない。かれの御手には善が
すべ こと ちから
ある。かれは全ての事に力がある。」

❧ カリマ その5—カリマ・イスティグファール ❧

اَسْتَغْفِرُ اللّٰهَ رَبِّي مِنْ كُلِّ ذَنْبٍ اَذْنَبْتُهُ، عَمَدًا اَوْ خَطَا سِرًّا اَوْ
عَلَانِيَةً، وَاَتُوبُ اِلَيْهِ مِنَ الذَّنْبِ الَّذِي اَعْلَمُ، وَمِنَ الذَّنْبِ
الَّذِي لَا اَعْلَمُ، اِنَّكَ اَنْتَ عَلَّامُ الْغُيُوبِ، وَسَتَّارُ الْعُيُوبِ،
وَعَفَّارُ الذُّنُوبِ، وَلَا حَوْلَ وَلَا قُوَّةَ اِلَّا بِاللّٰهِ الْعَلِيِّ الْعَظِيمِ.

アスタグフィルラーハ ラッビー ミン クリ ザンビン

アズナブトゥフー アマダン アウ ハタアン スィッラン アウ

アラニーヤタッワアトゥーブ イライヒ ミナッザンビッラズィー

アアラム ワ ミナッザンビッラズィーラーアアラム インナカ アンタ アッラームルグユービ

ワ サッタールルウユービ ワ ガッファールズヌービ ワラー ハウラ

ワラー クワタ イッラービッラーヒルアリーイルアズィーム

わたし こい くいしき ひみつ こうぜん おか すべ
「私 は故意に、無意識に、秘密に、または公然と犯した全ての

つみ ゆる もと わたし き
罪からの赦しをアッラーに求めます。私 が気づいているか、

き すべ つみ たい ゆる もと たし
気づいていない全ての罪に対して、かれの赦しを求めます。確かに

すべ おうぎ じゅくち おかた たんしょ かく
あなたは(アッラー)、凡ての奥義を熟知された御方、短所を隠される



おかた つみ ゆる おかた しこうしだい ほか
御方、罪を赦される御方です。また、至高至大のアッラーの他にいか

いりよく きょうだい
なる威力も強大なるものもありません。」

❧ カリマ その6ーカリマ・ラッドル・クフリ ❧

اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنْ أَنْ أُشْرِكَ بِكَ شَيْئًا، وَأَنَا أَعْلَمُ
بِهِ، وَأَسْتَغْفِرُكَ لِمَا لَا أَعْلَمُ بِهِ، تُبْتُ عَنْهُ وَتَبَّرَاتُ مِنَ الْكُفْرِ
وَالشِّرْكِ وَالْكَذْبِ وَالْغَيْبَةِ وَالْبِدْعَةِ وَالنَّمِيمَةِ وَالْفَوَاحِشِ
وَالْبُهْتَانِ وَالْمَعَاصِي كُلِّهَا، وَأَسْلَمْتُ، وَأَقُولُ لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ
مُحَمَّدٌ رَسُولُ اللَّهِ.

アッラーフンマ インニー アウズビカ ミン アン ウシュリカ ビカ シャイアン
ワアナ アアラム ビヒー ワアスタグフィルカ リマー ラー アアラム ビヒー
トゥプトゥ アンフ ワタバッラアトゥ ミナルクフリ ワッシルキ ワルキズビ
ワルギーパティ ワルビドゥアティ ワンナミーマティ ワルファワーヒシ
ワルアフターニ ワルマアースィークリハー ワアスラムトゥ
ワアクール ラー イラーハ イッラッラーフ
ムハンマドゥン ラスールッラー

わたし し こい ほか なら
「アッラーよ、私 は知っているのに、故意に他のものをあなたに並
べることからのご加護を願います。知らずにやってしまった罪からの
ゆる こ ねが わたし ふしんこう たしんきょう うそ かげぐち いたんてき
お赦しを請い願います。私 は不信仰、多神教、嘘、陰口、異端的



こうい　ちゅうしょう　ひわい　おこな　もうげん　すべ　ふじゅうじゅん　こと　く
行為と、中傷、卑猥な行い、妄言、全ての不従順な事を悔い

あらた　わたし　きえ　いがい　かみ　すうはい
改めます。私はイスラームに帰依し、アッラー以外に神(崇拜する

もの)はないことと、ムハンマド様 (サッラッラーフ、アライヒ) がアッラーの

しと　もう　の
使徒であることを申し述べます。』



しんこう きそ
 信仰の基礎

しんこう きそ
 信仰の基礎は6つです。

أُصُولُ الْإِيمَانِ سِتَّةٌ وَهِيَ:

ウスールル イマーニ シットタウン ワヒヤ

しん こと アッラーを信じる事	الْإِيمَانُ بِاللَّهِ	01
アルイーマーヌ ビッラーヒ		
てんし しん こと 天使たちを信じる事	الْإِيمَانُ بِالْمَلَائِكَةِ	02
アルイーマーヌ ビルマラーイカティ		
けいてん しん こと 啓典を信じる事	الْإِيمَانُ بِالْكِتَابِ	03
アルイーマーヌ ビルクトゥビ		
しと しん こと 使徒たちを信じる事	الْإِيمَانُ بِالرُّسُلِ	04
アルイーマーヌ ビッルスリ		
さいご ひ しん こと 最後の日を信じる事	الْإِيمَانُ بِالْيَوْمِ الْآخِرِ	05
アルイーマーヌ ビルヤウミル アーヒリ		
しゅくめい しん こと カダル(宿命)を信じる事	الْإِيمَانُ بِالْقَدَرِ	06
アルイーマーヌ ビルカダリ		

1-アッラー

アッラーは唯一の神です。かれの他に崇拜に値するものはありません。天と地にある全てのものは、かれの有である。万物の創造主で
全知全能です。アッラーに仲間はいません、両親も子供もいません。かれは全ての創造物に糧を与え、見守ってくださっている。
ということを信じることです。

2-天使たち

天使たちは光でつくられた、アッラーのしもべです。
彼らはアッラーの命令に従って、アッラーの指示を運びます。
アッラーを崇拜する性質をもともと備えています。天使は、それぞれ
違った仕事をしています。

3-啓典

アッラーは人々のために正しい教えを啓典として使徒たちに与えら
れました。ムスリムは、全ての啓典を信じます。しかし、初めのころ
の啓典は失われたり、変えられたりしたので、ムスリムは聖クルア
ーンだけに従うのです。聖クルアーンは啓示が下ってから現在まで
ひともじかか
一文字も書き変えられていません。



アッラーからくださった4つの啓典

- ✓ ムーサー(アライヒッサラーム)のタウラートゥ(律法)
- ✓ ダーウード(アライヒッサラーム)のザブール(詩編)
- ✓ イーサー(アライヒッサラーム)のインジール(福音書)
- ✓ ムハンマド(サッラッラーフ アライヒ)の聖クルアーン。

4-使徒

使徒と預言者たちはアッラーが選ばれた人々です。彼らはアッラーの
 教えを実行し、人間社会の本当の指導者そして案内者です。彼ら
 は私たちの見本です。地上での人間生活は、預言者アードム(彼に
 平安あれ)と共に始まりました。預言者は神ではありません。以下は
 聖クルアーンに書かれている25人の預言者たちの名前です。皆で覚え
 ましょう。

聖クルアーンに書かれている25人の預言者たちの名前		
1	アードム	آدَمُ
2	イドリース	إِدْرِيسُ
3	ヌーフ	نُوحٌ

4	フード	هُودٌ
5	サーリフ	صَالِحٌ
6	イブラーヒーム	إِبْرَاهِيمُ
7	ルート	لُوطٌ
8	イスマーイール	إِسْمَاعِيلُ
9	イスハーク	إِسْحَاقُ
10	ヤアクーブ	يَعْقُوبُ
11	ユースフ	يُوسُفُ
12	アイユーブ	أَيُّوبُ
13	シュアイブ	شُعَيْبٌ
14	ハールーン	هَارُونُ





15	ムーサー	مُوسَى
16	アルヤサウ	الْيَسَعُ
17	ズルキフリ	ذُو الْكِفْلِ
18	ダーウード	دَاوُدُ
19	スライマーン	سُلَيْمَانُ
20	イルヤース	إِلْيَاسُ
21	ユーヌス	يُونُسُ
22	ザカリーヤ	زَكَرِيَّا
23	ヤヒヤー	يَحْيَى
24	イーサー	عِيسَى
25	ムハンマド (アライヒムッサラートウ ワッサラム) <small>よげんしゃ へいあん</small> すべての預言者に平安あれ。	مُحَمَّدٌ عَلَيْهِمُ الصَّلَاةُ وَالسَّلَامُ



5-審判の日

ばんぶつ し むか よ なに たず さば
万物はいつか死を迎え、この世で何をしてきたかを尋ねられる「裁
ひ むか よげんしゃ とお おし したが
きの日」を迎えるのです。預言者たちを通してアッラーの教えに従
ひとびと てんごく い おし はんこう あくま
っていた人々は天国へ行き、アッラーの教えに反抗して悪魔(シャイ
したが ひとびと じごく お さいご ひ しん
ターン)に従った人々は地獄に落とされるのです。最後の日を信じる
い か か ぜんぶしん
ということは以下に書いていることを、全部信じるということです。

かなら し しん
✓いつか必ず死ぬことを信じること

はかば しつもん へいあん ばつ う
✓墓場での質問、そこでの平安と罰を受けること

ふ
✓ラッパが吹かれること

すべ じんるい しゅ おんまえ た
✓全ての人類が主の御前に立つこと

かれ すべ おこな か きろくしょ わた
✓彼らの全ての行いが書かれた記録書が渡されること

おこな はか てんびん そんざい
✓行いを量る天秤の存在

じごく うえ か だれ わた はし
✓地獄の上に架かる、誰もが渡らなければならない橋(スィラート)の

そんざい
存在

よげんしゃ したが ひとびと の
✓預言者(サッラッラーフ アライヒ)に従った人々が飲むことになるカウサ

てんごく かわ そんざい
ルという天国の川の存在

よげんしゃ そうぞうぶつ かれ きょうどうたい たい おこな
✓預言者(サッラッラーフ アライヒ)が創造物と彼の共同体に対して行

と な
執り成し



てんごく　じごく　はい　しご　できごと　すべ
✓そして天国か地獄のどちらかへ入ること、また死後の出来事を全て
しん
信じること

しゅくめい 6-宿命

すべ　ぜん　あく　さだ
全ての善と悪はアッラーによる定めであり、アッラーはどんなことで
おのぞ　じっこう　かくしん
あれ、かれが御望みであることを実行するということを確認すること
です。

ぜんち　かみ　そうぞう　にんげん　なに　えら　みち　い　し
全知の神は、創造した人間が何を選ぶか、どの道に行くか知ってい
なに　せんたく　いし　も　にんげん　まか
ます。それでも何を選択するかは意志を持った人間に任されている
しゅくめい　な
のであり、宿命だからといって投げやりになってはいけません。

じんじ　つ　てんめい　ま　に
「人事を尽くして天命を待つ」ということわざと似ているのではない
でしょうか。

はしら
イスラームの5つの柱

عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عُمَرَ رَضِيَ اللَّهُ عَنْهُمَا أَنَّهُ قَالَ:
قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ:
"بُنِيَ الْإِسْلَامُ عَلَى خَمْسٍ: شَهَادَةِ أَنْ لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ، وَأَنَّ
مُحَمَّدًا رَسُولُ اللَّهِ، وَإِقَامِ الصَّلَاةِ، وَإِيتَاءِ الزَّكَاةِ، وَالْحَجِّ،
وَصَوْمِ رَمَضَانَ". (رَوَاهُ الْبَيْهَقِيُّ وَمُسْلِمٌ)

アンアブディッラーヒブニ ウマラ ラディヤッラーフ アンフマー
アンナフー カーラ: カーラ ラスールッラーヒ サッラッラーフ アライヒ ワサッラム:
ブニヤル イスラーム アラーハムシー シャハーダティ アンラーイラーハ
イッラッラーフ ワアンナ ムハンマダン ラスールッラーヒ
ワイカーミッサラーティ ワイイターイッザカーティ ワルハッジ ワサウミ ラマダーン
し と かれ しゆくふく へいあん
アッラーの使徒(彼にアッラーからの祝 福と平安あれ)はおっしゃっ
たと、イブン・ウマル(彼にアッラーのご満悦あれ)は、述べました。



イスラームは5つの柱の上に建てられています。

1. アッラーの他に神（崇拝するもの）はなく、ムハンマド様
（サッラッラーフ アライヒ）は、アッラーの使徒であることを証言すること。
2. 1日5回、サラート(礼拝)を捧げること。
3. ザカート(定め)の喜捨を支払うこと。
4. ラマダーン月のサウム(断食)をすること。
5. ハッジ(大巡礼)をすることです。

(アル・ブハーリーとムスリムの伝承)

1-シャハーダ(信仰の表明)

唯一なるアッラーの他にいかなる神(崇拝するもの)も存在しないこと、また、ムハンマド様(サッラッラーフ アライヒ)は、アッラーの僕であり使徒であることを証言することです。これによって、人生の目的は、ただアッラーに従うことだという信仰を表明します、最後の預言者ムハンマド様(サッラッラーフ アライヒ)の教え、つまりスンナに従うことによってその目的は果たされるのです。

2-サラート(礼拝)

まいにち かい さだ じかん おこな れいはい からだ ころろ
毎日5回、定められた時間に行われる礼拝のことです。体と心を
きよ しんし たいど たい けいじ ことば
清め、真摯な態度で、アッラーに対し、啓示された言葉である
ご しょうせつ よ たた かんしゃ
アラビア語で、クルアーンの章節を誦み、アッラーを讃え、感謝
きがん おこな
し、祈願を行います。

3-サウム(断食)

れき だい ばんめ つき つき いっかげつかん だんじき
イスラーム暦の第9番目の月(ラマダーン月)の1か月間、断食をする
ことです。夜明け前から日没まで、飲食はもちろん、様々な欲望
た そんざい いしき しゅうちゅう
を断って、アッラーの存在に意識を集中させます。

4-ザカート(定めのお喜捨)

まず ひと こじ きゅうさい ざいさん いちぶ ほどこ ぎむ
貧しい人や孤児の救済のため、財産の一部を施すことが義務で
す。あらゆるものはアッラーに属しており、人間の持っている財産
しんたく かんが ざいさん ぶん
はアッラーからの信託だと考えられるため、財産の40分の1を
みち かな もくてき もち ひつよう
アッラーの道に適った目的に用いる必要があります。クルアーンに
う けんり ひと き
は、ザカートを受ける権利は、8グループの人たちにあると決められて
います。





だいじゅんれい
5-ハッジ(大巡礼)

イスラーム暦の第12番目の月(ズルヒッジャ月)に人生に1回、イスラームの聖地マッカにあるカアバ聖殿に赴き、定められた儀式を行うことです。肉体的および経済的に可能なムスリムが世界中から集まり、階級や文化の違いを超えてアッラーの御前で等しく儀式に参加します。

الأَسْمَاءُ الْحُسْنَى

びめい
アッラーの美名99 (アル・アスマー・ウル・フスナー)

وَلِلَّهِ الْأَسْمَاءُ الْحُسْنَى فَادْعُوهُ بِهَا (الاعراف: 180)

ワリッラーヒル アスマーウル フスナー ファドゥウーフ ビハー

もっと うつく すべ みな そく
最も美しい凡ての御名はアッラーに属する。それでこれら
(の御名) で、かれを呼びなさい。

(アル・アアラーフ : 180)

ばんごう 番号	アラビア ごめい 語名	よ かた 読み方	い み 意味
	الله	アッラー	
1	الرَّحْمَنُ	アッ・ラフマーン	じひ おかた 慈悲あまねく御方
2	الرَّحِيمُ	アッ・ラヒーム	じあいぶか おかた 慈愛深き御方
3	الْمَلِكُ	アル・マリク	しん おうじゃ 真の王者
4	الْقُدُّوسُ	アル・クッドゥース	けってん ちょうえつ あらゆる欠点を超越な さ おかた れる御方



5	السَّلَامُ	アッ・サラーム	へいあん あんしん あた くだ 平安と安心を与えて下さ おかた る御方
6	الْمُؤْمِنُ	アル・ムウミン	あんぜん かくほ おかた 安全を確保される御方
7	الْمُهَيَّمِنُ	アル・ムハイミン	もっと かんし 最もよく監視される おかた しゅご おかた 御方、守護される御方
8	الْعَزِيزُ	アル・アズィーズ	すべ うわまわ おかた 全てを上回る御方 ぜんのうしゃ (全能者)
9	الْجَبَّارُ	アル・ジャッパール	せいあつ おかた 制圧される御方
10	الْمُتَكَبِّرُ	アル・ムタカッビル	もっと ほこ たか おかた 最も誇り高き御方
11	الْخَالِقُ	アル・ハーリク	そうぞうしゅ 創造主
12	الْبَارِئُ	アル・バーリウ	む じょうたい そうぞう 無の状態から創造される ぞうぶつしゅ 造物主
13	الْمُصَوِّرُ	アル・ムサウイル	けいたい さず おかた 形態を授けられる御方
14	الْغَفَّارُ	アル・ガッフアール	ゆる おかた 赦される御方

15	الْقَهَّارُ	アル・カッハール	すべ せいふく おかた 全てを征服なされる御方
16	الْوَهَّابُ	アル・ワッハーブ	すべ かぎ さず 全てを限りなく授けられ おかた る御方
17	الرِّزَّاقُ	アッ・ラッザーク	すべ そうぞうぶつ かくて 全ての創造物の糧を しよじ さず おかた 所持され授けられる御方
18	الْفَتَّاحُ	アル・ファッターフ	しんり せいぎ も 心理と正義を持って こうへい さば おかた 公平に裁かれる御方
19	الْعَلِيمُ	アル・アリーム	すべ し おかた 全てを知る御方
20	الْقَابِضُ	アル・カービドゥ	あた さ ひか 与えることを差し控えられ おかた る御方
21	الْبَاسِطُ	アル・バースィト	お あた おかた 惜しみなく与えられる御方
22	الْخَافِضُ	アル・ハーフィドゥ	ち い めいよ ひく (地位や名誉を) 低められ おかた る御方
23	الرَّافِعُ	アッ・ラーフィウ	ち い めいよ たか (地位や名誉を) 高められ おかた る御方



24	المُعِزُّ	アル・ムイヅ	えいよ なた おかた 榮譽を与えられる御方
25	الْمُدِلُّ	アル・ムズィッル	ふめいよ くつじょく さず 不名誉や屈辱を授けられ おかた る御方
26	السَّمِيعُ	アッ・サミーウ	すべ き おかた 全てを聴いておられる御方
27	الْبَصِيرُ	アル・バスイール	すべ み おかた 全てを視ておられる御方
28	الْحَكَمُ	アル・ハカム	さいてい みじん けってん 裁定に微塵も欠点のない おかた 御方
29	الْعَدْلُ	アル・アドゥル	こうへい こうせい おかた 公平で公正なる御方
30	اللطيفُ	アッ・ラティーフ	あわ やさ 哀れみをかけられ、優しく えんじょ くだ おかた 援助して下さる御方
31	الْخَبِيرُ	アル・ハビール	すべ じゅくち おかた 全てを熟知なされる御方
32	الْحَلِيمُ	アル・ハリーム	しんぼうづよ かんよう おかた 辛抱強く寛容なる御方
33	الْعَظِيمُ	アル・アズィーム	えいこう いげん おかた 栄光かつ威厳ある御方

34	الْغُفُورُ	アル・ガフル	つみ ゆる おかた 罪を赦される御方
35	الشَّكُورُ	アッ・シャクル	かんしゃ おかた 感謝なされる御方
36	الْعَلِيُّ	アル・アリー	すべ こと しこう 全ての事において至高なる おかた 御方
37	الْكَبِيرُ	アル・カビール	しだい おかた 至大なる御方
38	الْحَفِيفُ	アル・ハフリーズ	すべ しゅご おかた 全てを守護なされる御方
39	الْمُقِيتُ	アル・ムキートゥ	のうりょく あた おかた 能力を与えられる御方
40	الْحَسِيبُ	アル・ハスィーブ	すべ じゅうぶん み 全てを十分に満たされる おかた 御方
41	الْجَلِيلُ	アル・ジャリール	いげん おかた 威厳のある御方
42	الْكَرِيمُ	アル・カリーム	めぐ ぶか おかた 恵み深い御方
43	الرَّقِيبُ	アッ・ラキーブ	た みまも かんし 絶えず見守られ監視される おかた 御方



44	المُجِيبُ	アル・ムジープ	いのこた おかた 祈りに応えられる御方
45	الْوَاسِعُ	アル・ワースィウ	ひろ ゆ わた おかた 広く行き渡らせる御方
46	الْحَكِيمُ	アル・ハキーム	えいち おかた 叡智ある御方
47	الْوَدُودُ	アル・ワドゥードゥ	もっと あいじょうぶか おかた 最も愛情深き御方
48	الْمَجِيدُ	アル・マジードゥ	もっと こうき おかた 最も高貴なる御方
49	الْبَاعِثُ	アル・バーイス	しんばん ひ よみがえ (審判の日に) 蘇らせる おかた 御方
50	الشَّهِيدُ	アッ・シャヒードゥ	すべ ちしき も 全ての知識を持たれ りっしょう おかた 立証される御方
51	الْحَقُّ	アル・ハック	ごじしん ぞくせい しんじつ 御自身と属性が真実で しんり おかた 真理なる御方
52	الْوَكِيلُ	アル・ワキール	すべ にな おかた 全てを担われる御方
53	الْقَوِيُّ	アル・カウィーユ	もっと ちからづよ おかた 最も力強い御方

54	الْمَتِينُ	アル・マティーン	けんご おかた 堅固たる御方
55	الْوَلِيُّ	アル・ワリーユ	しんこう 信仰するしもべを えんじょ おかた 援助される御方
56	الْحَمِيدُ	アル・ハミードウ	しん しょうさん 真に称賛されるべき おかた 御方
57	الْمُخْصِي	アル・ムフスィー	ごじしん ちしき そうぞうぶつ 御自身の知識で創造物を かんぜん し おかた 完全に知っておられる御方
58	الْمُبْدِي	アル・ムブディウ	すべ そうし おかた 全てを創始される御方
59	الْمُعِيدُ	アル・ムイードウ	すべ しょうかん おかた 全てを償還される御方
60	الْمُحْيِي	アル・ムフイー	せいめい そうぞう おかた 生命を創造される御方
61	الْمُمِيتُ	アル・ムミートウ	し あた おかた 死を与えられる御方
62	الْحَيُّ	アル・ハイユ	えいきゅう せいぞん おかた 永久に生存される御方
63	الْقَيُّومُ	アル・カイユーム	えいえん じぞん すべ 永遠に自存され、全てを うんえい おかた 運営される御方



64	الْوَّاجِدُ	アル・ワージドゥ	すべて しょじ おかた 全てを所持される御方
65	الْمَاجِدُ	アル・マージドゥ	こうき おかた 高貴なる御方
66	الْوَّاحِدُ	アル・ワーヒドゥ	ゆいいつそんざい おかた 唯一存在される御方
67	الْأَحَدُ	アル・アハドゥ	ほか おな 他に同じようなものはない ゆいいつむに おかた 唯一無二の御方
68	الصَّمَدُ	アッ・サマドゥ	なん えんじょ ひつよう 何の援助も必要とされ じぞん おかた ず、自存される御方
69	الْقَادِرُ	アル・カーディル	ぜんのう おかた 全能なる御方
70	الْمُقْتَدِرُ	アル・ムクタディル	ぜんのう おかた 全能なる御方
71	الْمُقَدِّمُ	アル・ムカッディム	おのぞ こと ぜんしん 御望みの事を前進させる おかた 御方
72	الْمَوْخِرُ	アル・ムアッヒル	おのぞ こと おく おかた 御望みの事を遅らせる御方
73	الْأَوَّلُ	アル・アウワル	いぜん なに そんざい かれ以前には、何も存在 さいしょ おかた しない最初の御方

74	الْآخِرُ	アル・アーヒル	いご なに そんざい かれ以後には、何も存在 さいご おかた しない最後の御方
75	الظَّاهِرُ	アッ・ザーヒル	そうぞうぶつ そんざい とお 創造物の存在を通して、 じしん そんざい あき ご自身の存在を明らかに おかた される御方
76	الْبَاطِنُ	アル・バーティン	しかい ちょうえつ おかた 視界を超越なされた御方
77	الْوَالِي	アル・ワーリー	すべ しょゆう とうち 全てを所有し、統治され おかた る御方
78	الْمُتَعَالِ	アル・ムタアーリ	もっと こうしょう おかた 最も高尚なる御方
79	الْبِرُّ	アル・バッル	もっと じあい あふ おかた 最も慈愛に溢れた御方
80	التَّوَابُ	アッ・タッワブ	かいご う い じゅんすい 悔悟を受け入れ(純粋な じょうたい もど おかた 状態へ戻される)御方
81	الْمُنْتَقِمُ	アル・ムンタキム	てきせつ ばつ あた 適切な罰をお与えになる おかた 御方
82	الْعَفْوُ	アル・アフウ	かんよう ゆる おかた 寛容に赦される御方



83	الرَّءُوفُ	アッ・ラウーフ	もっと あわ ふか おかた 最も哀れみ深い御方
84	مَالِكُ المُلْكِ	マーリク・ル・ ムルキ	すべ しゅけん も おかた 全ての主権を持つ御方
85	ذُو الْجَلَالِ وَالْإِكْرَامِ	ズ・ル・ジャラーリ ワ・ル・イクラーミ	そんげん えいよ み めぐ 尊厳と栄誉に満ち、恵み あた おかた を与えられる御方
86	الْمُقْسِطُ	アル・ムクスイトゥ	こうせい おかた 公正なる御方
87	الْجَامِعُ	アル・ジャーミウ	しんばん ひ そうぞうぶつ (審判の日に創造物を) しょうしゅう おかた 招集なされる御方
88	الْغَنِيُّ	アル・ガニーユ	み た おかた 満ち足りた御方
89	الْمُغْنِي	アル・ムグニー	とみ あた おかた 富を与えられる御方
90	الْمَانِعُ	アル・マーニウ	こんなん そし おかた 困難を阻止する御方

91	الضَّارُّ	アッ・ダーツル	じしん えいち のぞ ひと (ご自身の叡智で、望む人 に)害をもたらす御方
92	النَّافِعُ	アン・ナーフィウ	えき あた おかた 益を与える御方
93	النُّورُ	アン・ヌール	じゅんすい ひかり (純粋な)光
94	الْهَادِي	アル・ハーディー	もっと みちび おかた 最もよく導かれる御方
95	الْبَدِيعُ	アル・バディーウ	たぐい すば そうぞう 類まれな素晴らしい創造 をなされた御方
96	الْبَاقِي	アル・バーキー	いちばんさいご そんざい おかた 一番最後に存在される御方
97	الْوَارِثُ	アル・ワーリス	すべ けいしょう おかた 全てを継承される御方
98	الرَّشِيدُ	アッ・ラシードウ	せいどう みちび おかた 正道へ導かれる御方
99	الصَّبُورُ	アッ・サブール	にんたいづよ おかた 忍耐強い御方





بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

بِسْمِ اللّٰهِ الرَّحْمٰنِ الرَّحِیْمِ
تاترفسٹائلرل

تفسیر

سورة الفاتحة

しょう かいたんしょう けいじ
1章 開端章 (アル・ファーティハ) マッカ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

الْحَمْدُ لِلَّهِ رَبِّ الْعَالَمِينَ ① الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ ②

مَالِكِ يَوْمِ الدِّينِ ③ إِيَّاكَ نَعْبُدُ وَإِيَّاكَ نَسْتَعِينُ ④

اهْدِنَا الصِّرَاطَ الْمُسْتَقِيمَ ⑤ صِرَاطَ الَّذِينَ أَنْعَمْتَ عَلَيْهِمْ ⑥

غَيْرِ الْمَغْضُوبِ عَلَيْهِمْ وَلَا الضَّالِّينَ ⑦

آمِينَ

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1)アルハムドリッラーヒラッビルアーラミーン

(2)アッラフマーニッラヒーム

(3)マーリキ ヤウミッディーン

(4)イイヤーカー ナアブドゥ ワイヤーカー ナスタイーン

(5)イヒデナッスィーラータル ムスタキーム

(6)スィラータル ラズィーナ アンアムタ アライヒム

(7)ガイリル マグドゥービ アライヒム ワラッダーリーン

アーミーン

ほんやく
翻訳

じ ひ じあいぶか み な
慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

ばんゆう しゅ すべ しょうさん
(1) 万有の主、アッラーにこそ凡ての称 讚あれ。

じ ひ じあいぶか おかた
(2) 慈悲あまねく慈愛深き御方。

さいご さば ひ しゅさいしゃ
(3) 最後の裁きの日の主宰者に。

あが つか おたす
(4) わたしたちはあなたにのみに崇め仕え、あなたにのみ御助けを
こ ねが
請い願う。

ただ みち みちび
(5) わたしたちを正しい道に 導 きたまえ。

おめぐ くだ ひとびと みち
(6) あなたが御恵みを下された人々の道に。

いか う もの ふ まよ ひとびと みち
(7) あなたの怒りを受けし者、また踏み迷える人々の道ではなく。



このスーラ（章）では、アッラーのみ崇拜しアッラーにのみ助けを願う事が示されています。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

ここではアッラーの99の美名の内の3つがあります。

01: 「アッラー」、つまりアッラーを表す最も特定のな名であり、全てのものに崇拜されるに値する唯一の御方。

02: 「アッ・ラフマーン」、つまり広大無限なご慈悲を有される、全ての被造物に対し、存在自体がご慈悲であられる御方。

03: 「アッ・ラヒーム」、つまりそのご慈悲が果てしなくとても深く無限であり、かれの御望みになられる被造物や、僕の内の信仰者たちに公平にご慈悲をかけられる御方。

الْحَمْدُ لِلَّهِ رَبِّ الْعَالَمِينَ ①

(1)アルハムドゥリッラーヒラッピルアーラミーン

すべての称讃は唯一の神アッラーにあれ。アッラーだけがあらゆる存在を創造した主である。「アーラミーン」とは「アーラム」の複数形。つまり「世界全体」の複数形であり、アッラー以外のあら

うちゅうぜんたい い み
ゆる宇宙全体を意味しています。

② الرَّحْمَنُ الرَّحِيمُ

(2)アッラフマーニッラヒーム

ぜんせつ ひ つづ しょうさん
前節に引き続き、アッラーへの称讃がなされています。

③ مَالِكِ يَوْمِ الدِّينِ

(3)マーリキヤウミッディーン

なにもの たしや たい えいきょう およ ふっかつ ひ
何者も他者に対して影響を及ぼすことのできない復活の日における
しゅさいしゃ そんすう
主宰者であるアッラーを尊崇しています。

さいご ひ ふっかつ ひ しんばん ひ
「ヤウミッディーン（最後の日）」とは、復活の日および審判の日を
さ
指しています。

④ إِيَّاكَ نَعْبُدُ وَإِيَّاكَ نَسْتَعِينُ

(4)イイヤーカーナアブドゥ ワイイヤーカー ナスタイーン

わたし しゅ すうはい ささ
私たちは、ただあなたのみにあらゆる種の崇拜を捧げ、あなた
いがい なにもの なら たい
以外に何者をも並べません。そしてあなたのみに対し、あらゆる
じょうきょう ちからぞ こ よ みて
状況からのお力添えを乞います。あらゆる善きものはあなたの御手
いがい しん きょうりよくしゃ
からもたらされ、あなた以外に真の協力者はいません。



⑤ إِهْدِنَا الصِّرَاطَ الْمُسْتَقِيمَ

(5)イヒディナッスィーラータル ムスタキーム

わたし ま す ただ みち しめ
私 たちに真っ直ぐで正しい道をお示してください。そしてそこに

わたし あゆ とど みちび
私 たちを歩ませ、そこにしっかりと留まれるようお導きくださいと

い み ま す みち
いう意味です。真っ直ぐな道とは、すなわちイスラームです。

⑥ صِرَاطَ الَّذِينَ أَنْعَمْتَ عَلَيْهِمْ

④ غَيْرِ الْمَغْضُوبِ عَلَيْهِمْ وَلَا الضَّالِّينَ

(6)スィラータルラズィーナ アンアムタアライヒム

(7)ガイリルマグドゥービ アライヒム ワラッダーッリーン

しんり もと こうい おこた いか こうむ
ここでは、真理に基づいた行為を怠り、アッラーの怒りを被っ

きょうと よう みち そ きょうと
たユダヤ教徒の様にならないよう、または道から逸れたキリスト教徒

きがん たいしょう あやま よう ちゅうい
のように祈願の対象を誤ることのない様に、ムスリムへ注意をして
います。

آمِينَ

アーミーン

れいはいちゅう かか かいたんしょう よ
礼拝中かどうかに関わらず、アル・ファーティハ(開端章)を読

お あと き とど
み終えた後には、「アーミーン(アッラーよ、聞き届けたまえ)」と

とな
唱えるようにしましょう。

سورة الناس

しょう ひとびとしょう けいじ
114章 人々章(アン・ナース) マッカ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ النَّاسِ ① مَلِكِ النَّاسِ ②

إِلَهِ النَّاسِ ③ مِنْ شَرِّ الْوَسْوَاسِ الْخَنَّاسِ ④ الَّذِي يُوَسْوِسُ فِي

صُدُورِ النَّاسِ ⑤ مِنَ الْجِنَّةِ وَالنَّاسِ ⑥

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1)クル アウーズ ビラッピンナース(2)マリキンナース(3)イラーヒンナース

(4)ミンシャッリル ワスワースィル ハンナース

(5)アッラズィーユワスウィス フィースドゥーリンナース

(6)ミナルジンナティワンナース

ほんやく 翻訳

じ ひ じあいぶか み な
慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

し と い わたし ひとびと しゅ か ご こ
(1) (使徒よ)言え、「私 は人々の主に、ご加護を乞う、

じ ひ じあいぶか おかた
慈悲あまねく慈愛深き御方。

ひとびと おう
(2) 人々の王。

しん すうはい ゆいいつ そんざい ひとびと かみ
(3) (真に崇拜されるべき唯一の存在である、)人々の神に。



(4) 頻りに身を潜ませて囁きかける者（シャイターン）の悪から。

(5) （それは、）人々の胸に（悪を）囁きかける。

(6) ジンと人々である。」

解説

このスーラ（章）は、113章（アル・ファラク）とセットのスーラです。アル・ファラクが魔術や人間のハサド（嫉妬）やアイン（邪視）から守ってもらえるための章であるのに対し、この章では唯一の神、全能のアッラーに頼りつつ、人間の行いを損ね、正しい道から逸らそうとする人間とジンからなるシャイターンの悪から身を守るための祈願の言葉が教示されています。このスーラを唱えることによって身体的な害悪を防ぐ事ができます。

このスーラの中で、人々の主、人々の王、人々の神と3回繰り返されているのは、「重要」であるからです。

預言者ムハンマド様（サッラッラーフ アライヒ）は、寝る前にいつも両手をあわせて、アル・イスラームとアル・ファラクとアン・ナースを3回ずつ読んで、両手に息を吹きかけ、それを体に塗りつけました。

こうすれば、すべての悪から守られます。

سورة الفلق

スーラトゥル ファラク

しょう れいめいしょう けいじ
113章 黎明章 (アル・ファラク) マッカ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ الْفَلَقِ ① مِنْ شَرِّ مَا خَلَقَ ② وَمِنْ شَرِّ غَاسِقٍ إِذَا

وَقَبَ ③ وَمِنْ شَرِّ النَّفَّاثَاتِ فِي الْعُقَدِ ④ وَمِنْ شَرِّ حَاسِدٍ إِذَا

حَسَدَ ⑤

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1)クル アウーズ ビラッビル ファラク

(2)ミン シャッリ マーハラク

(3)ワミンシャッリ ガースィキン イザーワカブ

(4)ワミンシャッリッナッファーサーティ フィルウカドゥ

(5)ワミンシャッリ ハースィディン イザーハサドゥ

ほんやく

翻訳

じひ じあいぶか みな
慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

しと い わたし れいめい しゅ か ご こ
(1) (使徒よ)言え、「私は黎明の主(に)、ご加護を乞(う)う。

そうぞう もの あく
(2) かれが創造された物の悪(あく)から。

ふか やみ よる あく
(3) また、深(ふか)まった闇(やみ)(夜)の悪(あく)から。



(4) また、^{つな} ^め ^{いき} ^ふ ^こ ^{おんな} ^{あく}
繋ぎ目に息を吹き込む女たちの悪から。

(5) また、^{しっと} ^{ねた} ^や ^{あく}
嫉妬した妬み屋の悪から。

かいせつ

解説

このスーラ(章)は、^{しょう} ^{よげんしゃ} ^{さま}
預言者ムハンマド様 (サッラッラフ^ワアライヒ) がユダ
^{きょうと} ^{ひと} ^の ^る
ヤ教徒のラビード・ピン・アル・アッサムという人に呪いをかけられ
^{とき} ^{けいじ} ^{まじゅつ} ^{よげんしゃ}
た時に啓示されました。そして、アッラーは魔術から預言者
(サッラッラフ^ワアライヒ) ^{まも} ^{しょう} ^{とな} ^{ほうほう} ^{おし}
を守るためにこの章を唱える方法を教えました。
^{れいめい} ^{よる} ^{あさ} ^{とき} ^{こと} ^い ^み
このスーラの黎明というのは、夜から朝になる時の事を意味してい
^{れいめい} ^{しゅ} ^{いき} ^ふ ^こ ^{じょせい}
ます。黎明の主とは、アッラーのことです。息を吹き込む女性たち
^{まじゅつし} ^{じょせい} ^{こと} ^{まじゅつ} ^{おこな} ^{さい} ^{ひも}
とは、魔術師の女性たちの事です。魔術を行う際には紐のつなぎ
^め ^{いき} ^ふ ^こ ^よ
目に息を吹き込んでいたとされています。そして、このスーラを讀
^{にんげん} ^{しっと} ^{じゃし} ^{まも}
むと、人間のハサド(嫉妬)やアイン(邪視)からも守られます。

^{わたし} ^{なに} ^{こま} ^よ
私たちは何か困ったことがあれば、このスーラを讀んで、
^{まも}
アッラーから守ってもらえるようにしましょう。

^{じぶん} ^{じしん} ^{しっと} ^{じゃし} ^{じぶん} ^{まわ}
自分自身にもハサド(嫉妬)やアイン(邪視)があれば、自分の周りの
^{ひと} ^{びと} ^{がい} ^{あた} ^{なに} ^{すば} ^{こと} ^み
人々にも害を与えてしまいます。ですから何か素晴らしい事を見た
^い ^い ^{じぶん} ^{まわ} ^{ひと}
ら「すごい」と言わずにマーシャアッラーと言って自分も周りの人
^{がい} ^{まも}
も害から守りましょう。

سورة الاخلاص

スーラトゥル イフラーズ

112章 純正章 (アル・イフラーズ) マッカ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

قُلْ هُوَ اللَّهُ أَحَدٌ ① اللَّهُ الصَّمَدُ ② لَمْ يَلِدْ وَلَمْ يُولَدْ ③ وَلَمْ يَكُنْ لَهُ

كُفُوًا أَحَدٌ ④

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1)クル フワッラーフ アハドゥ

(2)アッラーフッサマドゥ

(3)ラムヤリドゥ ワラムユーラドゥ

(4)ワラムヤクッラフー クフワンアハドドゥ

ほんやく

翻訳

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

(1) (使徒よ)言え、「かれはアッラー、唯一なる御方。

(2) アッラーは、威光高き御方。

(3) お産みすることもなければ、お産まれにもならなかったのであり、

(4) 誰一人、かれに匹敵するものもなかった。」



このスーラ(章)は、「神様はなにか」「神様はどんな御方か」が
説明しています。神様についてよく理解したい方はこの章をよく
勉強して下さい。

また、このスーラは預言者ムハンマド様 (サッラッラーフ アライヒ) がクラ
イシュ族、ユダヤ教徒の学者、キリスト教徒、多神教徒が神様につ
いて質問したときに啓示されました。彼らは、「私たちの神は360体
いるのに、それでも私たちの必要を満たしてくれない。たった1つ
だけの神で何になるのか。」または、「あなたの主は、どんな形なの
か、真鍮か、金か、そうでないなら、何なのだ。」と質問しまし
た。また、ユダヤ教徒は言いました。「あなたの主について教えなさい。
かれはどんな御方ですか。」すると、アッラーはたった4アーヤ
(4節)で彼らの言うことを全て否定し、アッラーが唯一であること
を証明したのです。

この章は、クルアーンの三分の一に相当します。ですから皆さん
もこのスーラをたくさん読んで沢山の報奨を得られるように頑張り
ましょう。

سورة المسد

スーラトウル マサド

111章 棕櫚章 (アル・マサド) マッカ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

تَبَّتْ يَدَا أَبِي لَهَبٍ وَتَبَّ ① مَا أَغْنَىٰ عَنْهُ مَالُهُ وَمَا كَسَبَ ②

سَيَصْلَىٰ نَارًا ذَاتَ لَهَبٍ ③ وَأَمْرَأَتُهُ حَمَّالَةَ الْحَطَبِ ④ فِي

جِيدِهَا حَبْلٌ مِّن مَّسَدٍ ⑤

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1) タッパトッ ヤダー アビー ラハビンワタツ

(2) マーアグナー アンフマルファー ワマーカサブ

(3) サヤスラーナーラン ザータ ラハブ

(4) ワムラアトッファーハンマーラタル ハタブ

(5) フィー ジーディハーハブルンミンマサド

ほんやく 翻訳

じひ じあいぶか みな
慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

(1) アブー・ラハブの両手は破滅せよ。そして彼は、(確かに)破滅したのだ。



(2) 彼の財産も、彼が得たものも、(アッラーの懲罰が下された
とき、)彼の役には立たなかった。

(3) 彼は、(激しく燃え上がる)炎を有する業火に入って炙られるこ
とになるう。

(4) そしてその妻、つまり薪の運搬人も(そこに入って炙られよ
う)。

(5) 彼女の首には、縫り合されたものの紐が(かけられて)ある。

かいせつ 解説

このスーラ(章)は、マッカ時代に預言者ムハンマド様

(サッラッラーフ・アライヒ)が最も苦勞された時に啓示されました。

アブー・ラハブというのは、預言者様(サッラッラーフ・アライヒ)の叔父さん

でしたが預言者様(サッラッラーフ・アライヒ)の事を最も苦しめた人間の
ひとり
一人です。

ある日、預言者様(サッラッラーフ・アライヒ)はアッラーのメッセージを伝

えるために親戚の人や知人を集めました。そして預言者様

(サッラッラーフ・アライヒ)はアッラーだけを崇拜することを彼らに伝えまし

た。その中でアブー・ラハブは「そのためだけに私を呼んだのか」と

い おこ よげんしゃさま はくがい はじ
言って怒りました。これが預言者様（サッラッラーフ アライヒ）への迫害の始
まりでした。

かれ つま よげんしゃさま
それからアブー・ラハブと彼の妻は、預言者様（サッラッラーフ アライヒ）の
わるぐち い まわ
悪口を言い回っていました。

とき よげんしゃさま どうろ はり
ある時は預言者様（サッラッラーフ アライヒ）がケガをするように道路に針の
お
ようなものを置いたりしていました。

けっきょく たたか か ご し かれ
結局、アブー・ラハブはバドルの戦いの7日後に死にました。彼
じごく や うんめい ま つま ひ
には地獄で焼かれてしまう運命が待っています。そしてその妻も火の
たきぎ せなか せ お はこ いか
ついた薪を背中に背負って運ばないといけません。アッラーの怒り
ほんとう おそ
は本当に恐ろしいです。



سورة النصر

スーラトゥル ナスル

しょう えんじょう けいじ
110章 援助章(アル・ナスル) マディーナ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

إِذَا جَاءَ نَصْرُ اللَّهِ وَالْفَتْحُ ① وَرَأَيْتَ النَّاسَ يَدْخُلُونَ فِي دِينِ
اللَّهِ أَفْوَاجًا ② فَسَبِّحْ بِحَمْدِ رَبِّكَ وَاسْتَغْفِرْهُ ③ إِنَّهُ كَانَ تَوَّابًا ④

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1)イザー ジャーアナスルッラーヒ ワルファトフ

(2)ワラアイタンナーサ ヤドゥフルーナ フィーディーニッラーヒ アフワージャー

(3)ファサッビフビハムディ ラッビカワスタグフィルフ インナフー カーナ タウワーバー

ほんやく 翻訳

じ ひ じあいぶか みな
慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

し と えんじょ しょうり どうらい
(1) (使徒よ、)アッラーの援助と勝利が到来し、

ひとびと つぎつぎ しゅうだん おし はい
(2) 人々が、次々と集団でアッラーの教え(イスラーム)に入るのを

み
見たならば、

しゅ しょうさん とも たた ゆる こ
(3) あなたの主の称讃と共に(かれを)称え、かれにお赦しを乞え。

ほんとう かいご うけい おかた
本当にかれはもとより、よく悔悟をお受入れになる御方なのだから。

かいせつ
解説

このスーラ（^{しょう}章）は、^{べつめい}別名「^{わか}別れの^{しょう}章」と呼ばれています。

なぜならこの^{しょう}章が^{けいじ}啓示されたすぐ^{あと}後、^{よげんしゃさま}預言者様（^{サッラッラーフ}_{ワサッラム} ^{アライヒ}）
はなくなってしまったからです。

この^{しょう}章は、^{れき}ヒジュラ歴の^{ねんめ}8年目の^{づき}ラマダーン月に、^{かえ}マッカへ帰っ
てきた^{よげんしゃさま}預言者様（^{サッラッラーフ}_{ワサッラム} ^{アライヒ}）への^{けいじ}アッラーの^{かれ}啓示です。彼は、
^{くろう}たくさんの^お苦勞を^だされてマッカからも^お追いついてしまいましたが、
^{さいご}最後は^{えんじょ}アッラーの^{せいふく}援助によってマッカを^{しょうり}征服する^{おさ}という勝利を収め
ました。マッカに^{かえ}帰ってきた^{よげんしゃさま}預言者様（^{サッラッラーフ}_{ワサッラム} ^{アライヒ}）をみて、マ
^{たくさん}ッカの^{ひとびと}沢山の^{にゆうしん}人々はイスラームへと^い入^{しん}信しました。

^{わたし}私^{こと}たちも、^{いや}イスラームの^{こと}事で^い嫌な^{よげんしゃさま}事を^い言われても、^{よげんしゃさま}預言者様
（^{サッラッラーフ}_{ワサッラム} ^{アライヒ}）の^{にんたい}ように^{しん}しっかりと^{しん}忍耐してアッラーを^{しん}信じれ
ば、^{わたし}きっと^{えんじょ}アッラーは^{しょうり}私^{しょうり}たちを^{しょうり}援助し、^{しょうり}勝利を^{しょうり}さずけてくれるでし
ょう。

^{わたし}だから^{わたし}私^ほたちは、^ほいつも^{わる}アッラーを^{わる}誉めた^{わる}た^{わる}え、^{わる}そして^{わる}悪い^{わる}こと
をして^{ゆる}しまったら^{ゆる}赦して^{ゆる}いただく^{ゆる}よう^{ゆる}にお^{ゆる}祈り^{ゆる}をし^{ゆる}なければ^{ゆる}なりま
せん。



سورة الكفرون

スーラトゥル カーフィルーン

109章 不信者章 (アル・カーフィルーン) マッカ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

قُلْ يَا أَيُّهَا الْكَافِرُونَ ① لَا أَعْبُدُ مَا تَعْبُدُونَ ② وَلَا أَنْتُمْ عَابِدُونَ

مَا أَعْبُدُ ③ وَلَا أَنَا عَابِدٌ مَّا عَبَدْتُمْ ④ وَلَا أَنْتُمْ عَابِدُونَ مَا أَعْبُدُ ⑤

لَكُمْ دِينُكُمْ وَلِيَ دِينِ ⑥

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1)クル ヤーアイユハル カーフィルーン

(2)ラー アアブドゥ マー タアブドゥーン

(3)ワラーアントゥム アービドゥーナ マーアアブドゥ

(4)ワラー アナ アービドゥンマーアバットゥム

(5)ワラーアントゥム アービドゥーナ マーアアブドゥ

(6)ラクム ディースクム ワリヤ ディーン

ほんやく

翻訳

じひ じあいぶか みな
慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

しと い ふしんこうしゃ
(1) (使徒よ、) 言ってやれ。「不信仰者たちよ、



- (2) 私^{わたし}は、あなた^{がた}方の崇拝^{すうはい}するものを崇拝^{すうはい}せず、
- (3) あなた^{がた}方は、私^{わたし}の崇拝^{すうはい}するもの(アッラー^{すうはいしや})の崇拝者^{すうはいしや}ではない。
- (4) また、私^{わたし}はあなた^{がた}方が崇拝^{すうはい}したものの崇拝者^{すうはいしや}ではなく、
- (5) あなた^{がた}方は、私^{わたし}の崇拝^{すうはい}するものの崇拝者^{すうはいしや}ではない。
- (6) あなた^{がた}方にはあなた^{がた}方の宗教^{しゅうきょう}があり、私^{わたし}には私^{わたし}の宗教^{しゅうきょう}がある。」

かいせつ
解説

このスーラ(章)では、イスラームから見た他の宗教^{しゅうきょう}への態度^{たいど}が示^{しめ}されています。イスラームは正^{ただ}しくて真^{しんじつ}実^{じつ}なのです。だからといっ
て他の宗教^{しゅうきょう}の人の事^{こと}をバカ^{いみ}にしてはいけ^{ふく}ないという意味^{いみ}が含ま^{ふく}れて
います。

また、この章^{しょう}は、預言者^{よげんしゃ}様^{さま} (サッラッラーフ^{ワサッラム} アライヒ) の親戚^{しんせき}の人^{ひと}や知^しり
あ^あ合^あいが、「私^{わたし}たちの神^{かみ}々^{がみ}をあなた^{すうはい}も崇拝^{すうはい}しなさい。そうすれば、私^{わたし}
たちもあなた^{ゆいつ}の唯一^{かみ}の神^{すうはい}を崇拝^{すうはい}します。」と言^いった時^{とき}に、アッラーか
ら啓示^{けいじ}されたのです。



سورة الكوثر

スーラトゥル カウサル

しょう じゅんたくしょう けいじ
108章 潤沢章 (アル・カウサル) マッカ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

إِنَّا أَعْطَيْنَاكَ الْكَوْثَرَ ① فَصَلِّ لِرَبِّكَ وَانْحَرْ ② إِنَّ شَانِئَكَ هُوَ

الْأَبْتَرُ ③

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1) インナー アアタイナーカル カウサル

(2) ファサッリ リラッビカ ワンハル

(3) インナ シャーニアカ フワル アブダル

ほんやく
翻訳

じひ じあいぶか みな
慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

よげんしゃほんとう じゅんたくさず
(1) (預言者よ) 本 当 に われら は、あな た に 潤 沢 を 授 け た。

しゅ れいはい
(2) ならば、あな た の 主 に の み 礼 拝 し、

みな ぎせい ささ
(か れ の 御 名 に お い て の み) 犠 牲 を 捧 げ な さ い。

じつ たずさ き みちび にく もの
(3) 実 に あな た (そ し て、あな た の 携 え て 来 た 導 き) を 憎 む 者 こ そ

た き もの
は、断 ち 切 ら れ た 者 な の で あ る。

かいせつ
解説

このスーラ(章)は、クルアーンの中で一番短い章です。カウサル
とは天国にある川の源です。

この章はムハンマド様(サッラッラーフ、アライヒ)の子供がなくなった時に、
悪意をもったアース・イブン・ワールが、預言者様(サッラッラーフ、アライヒ)
の事を悪くいった事に対してのアッラーからの啓示です。「将来の
希望を断たれるであろう。」とは、預言者様(サッラッラーフ、アライヒ)の事を
憎悪する人のほうこそ、将来の希望、つまり子孫がいなくなっ
てしまっ
まうだろうという意味です。



سورة الماعون

スーラトゥル マーウーン

しょう じぜんしょう けいじ
107章 慈善章(アル・マーウーン) マッカ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

أَرَأَيْتَ الَّذِي يُكَذِّبُ بِالذِّينِ ① فَذَلِكَ الَّذِي يَدْعُ الْيَتِيمَ ② وَلَا
يَحْضُ عَلَى طَعَامِ الْمِسْكِينِ ③ فَوَيْلٌ لِلْمُصَلِّينَ ④ الَّذِينَ هُمْ عَنْ
صَلَاتِهِمْ سَاهُونَ ⑤ الَّذِينَ هُمْ يُرْآءُونَ ⑥ وَيَمْنَعُونَ الْمَاعُونَ ⑦

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1)アラアイタツラズィー ユカツズィブ ビッディーン

(2)ファザーリカツラズィー ヤドゥッウル ヤティーム

(3)ワラー ヤフドゥアラー タアーミル ミスキーン

(4)ファワイルリル ムサリーン

(5)アツラズィーナフム アンサラーティヒム サーフーン

(6)アツラズィーナフム ユラーウーン(7)ワヤムナウーナル マーウーン

ほんやく

翻訳

じひ じあいぶか みな
慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

い ふかつ むく うそ もの
(1) 言ってみよ、(復活と)報いを嘘とする者(について)。

こじ けんり お
(2) それは孤児を(その権利から)押しやり、

ひんじゃ た もの ほどこ すす もの
(3) 貧者たちに食べ物を施すことを勧めない者。



(4) 災わざわいあれ、礼拝者れいはいしゃたち(ではあっても)、

(5) 自分たちの礼拝じぶん れいはいを、おろそかにする者ものたち。

(6) 見せびらかしみで(善行ぜんこうを)行おこない、

(7) 手助けてだすを妨さまたげる者ものたちに。

かいせつ
解説

このスーラ(章)では、最初に「審判しんぱんを嘘うそであるとする者ものをみたか。」

とアッラーによる質問しつもんから入っています。審判しんぱんを嘘うそであるとする者もの

とは、つまりイスラームの教えおしを心こころから信しんじていない者ものの事ことです。

アッラーは第2アーヤ(節)から、その審判しんぱんの日ひを嘘うそであるとする者ものに

ついて詳しく説明くわしています。

1つ目は、両親りょうしんのいない子供こどもに手荒てあらくする者もの。

2つ目は、貧しい人めに食べ物たを与あたえない人ひと。

3つ目は、礼拝れいはいを行おこなうが、時間じかんに不注意ふちゅういな人ひと。

4つ目は、人めに見られるためひとに礼拝れいはいをする人ひと。

5つ目は、良い行よいを断ことわる人ひと。

この章で、私わたしたちが勉強べんきょうするのは、両親りょうしんのいない子供こどもには親切しんせつに

し、お腹なかのすいている人ひとには食べ物たを与あたえ、時間じかん通りにアッラーのため

に礼拝れいはいをし、ちゃんと善よい行おこないをする事ことを学まなぶべきです。



سورة قريش

スーラトゥル クライシュ

106章 クライシュ族章 マッカ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

لِإِيلَافِ قُرَيْشٍ ① إِيْلَافِهِمْ رِحْلَةَ الشِّتَاءِ وَالصَّيْفِ ② فَلْيَعْبُدُوا

رَبَّ هَذَا الْبَيْتِ ③ الَّذِي أَطْعَمَهُمْ مِنْ جُوعٍ وَآمَنَهُمْ مِنْ

خَوْفٍ ④

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1)リーラーフィ クライシュ

(2)イーラーフィヒム リフラタッシターイ ワッサイフ

(3)ファル ヤアブドゥー ラッパ ハーザルバイトゥ

(4)アッラズィー アトアマフム ミンジューウ ワアーマナフム ミンハウフ

ほんやく

翻訳

じ ひ じあいぶか み な
慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

(1) クライシュ族の慣例に(感嘆せよ)。

(2) 冬と夏の旅における彼らの慣例に(感嘆せよ)。

(3) ならば彼らに、この館(カアバ聖殿)の主を崇拜させるのだ。

くうふく た もの かれ さず かれ きょうふ やす
(4) 空腹ゆえに食べ物を彼らにお授けになり、彼らを恐怖から安ら
けて下さったお方を。

かいせつ
解説

このスーラ(章)は、105章象章からの続きです。

よげんしゃ さま こと はくがい いがい
預言者ムハンマド様 (サッラッラーフ、アライヒ)の事を迫害し、アッラー以外
しんこう ぞく せい でん かんり
のものを信仰していた。クライシュ族は、もともとカアバ聖殿を管理
ちゅうしん
していました。そして、マッカを中心に、シリア、イエメンなどの
まわ くに しゅんかしゅうとうぼうえき りえき え
周りの国と、春夏秋冬貿易してたくさんの利益を得ていたのです。

だい せつ で せい でん しゅ こと
第3アーヤ(節)に出てくる聖殿の主とは、アッラーの事です。

せ おそ たい のぞ こと
そして(アブラハが攻めてきたという)恐れに対してそれを除く事がで
おんけい
きるのもアッラーの恩恵です。

ぞく たしんきょうと ほんとう こと す
クライシュ族の多神教徒は、本当にマッカの事が好きで、その
かげ あんぜん く ぼうえき せいかつ な た
マッカのお陰で安全な暮らしが保障され、貿易で生活が成り立って
ゆいいつ かみ しん けいじ う い
いるならば、唯一の神であるアッラーを信じ、その啓示を受け入れる
べきなのです。



سورة الفيل

スーラトゥル フィール

しょう ぞうしょう けいじ
106章 象章(アル・フィール) マッカ啓示

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

أَلَمْ تَرَ كَيْفَ فَعَلَ رَبُّكَ بِأَصْحَابِ الْفِيلِ ① أَلَمْ يَجْعَلْ كَيْدَهُمْ

فِي تَضَلُّيلٍ ② وَأَرْسَلَ عَلَيْهِمْ طَيْرًا أَبَابِيلَ ③ تَرْمِيهِمْ بِحِجَارَةٍ

مِّنْ سِجِّيلٍ ④

فَجَعَلَهُمْ كَعَصْفٍ مَّأْكُولٍ ⑤

ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム

(1)アラムタラ カイファ ファアララップカ ビアスハービル フィール

(2) アラム ヤジュアルカイダフム フィータドゥリール

(3) ワアルサラ アライヒム タイラン アバービール

(4)タルミーヒム ビヒジャーラティン ミンスイッジュール

(5)ファジャアラフム カアスフィン マックール

ほんやく

翻訳

じひ じあいふか みな
慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

(1) (使徒よ) ① 一体あなたは、あなたの主が、象の仲間たちにどのよう
② になさったのか、知らなかったのか。



たしんきょうと けいこく
するマッカにいた多神教徒への警告です。

わたし しょう つう さまさま まな
私たちは、この章を通じて、様々なことを学ぶべきです。そしてど
たくさん ぐんたい へいき か おも ぜったい
れだけ沢山の軍隊や兵器でアッラーに勝とうと思っても、それは絶対に
かな
叶わないことです。



بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
هَدْي

ハ
デ
イ
ス

الحديث

الحديث ハディース

よげんしゃ ^{さま} 預言者ムハンマド様((^{ことば} ^{おこな} サッラッラーフ ^{アライヒ}) の言葉と行いと

ちんもく ^{よげんしゃさま} ^{まえ} 沈黙(預言者様の前にいる ^{なかも} ^{ひとり} 仲間の一人の ^{ことば} ^{こうどう} ^{たい} 言葉や行動に対する

よげんしゃさま ^{ちんもく} ^{どうい} 預言者様の沈黙)または同意は ^よ ハディースと呼ばれています。

よげんしゃ ^{さま} 預言者ムハンマド様(^い サッラッラーフ ^{アライヒ})は言いました。

نَضَرَ اللهُ امْرَأً سَمِعَ مِنَّا حَدِيثًا فَحَفِظَهُ حَتَّىٰ يُبْلَغَهُ " (رَوَاهُ أَبُو دَاوُدَ)

ナッダラッラーフムラアン サミアミンナーハディーサン

ファハフィザフー ハッター ユパッリガフ

わたし ^{よげんしゃ} ^{さま} 「私(預言者ムハンマド様)からハディースを聞いた人 ^{ひと}

が ^{あんき} 暗記し、それを(^{ほか} ^{しんじゃたち} 他の信者達に) ^し 知らせるまで、

アッラーが ^{かれ} ^{しゅくふく} 彼を祝福してくださいますように。」

(アブーダーウード)

اركان الاسلام

アルカーヌル イスラーム

イスラームの柱^{はしら}

1

قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ:

カーララスールッラーヒ サッラッラーフ アライヒ ワッサラム

よげんしゃ

さま

い

預言者ムハンマド様 (サッラッラーフ アライヒ) は、言いました。

بُنِيَ الْإِسْلَامُ عَلَى خَمْسٍ: شَهَادَةٌ أَنْ لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ، وَأَنَّ مُحَمَّدًا
رَسُولُ اللَّهِ، وَإِقَامُ الصَّلَاةِ، وَإِيتَاءُ الزَّكَاةِ، وَالْحَجُّ، وَصَوْمُ

رَمَضَانَ (رَوَاهُ الْبُخَارِيُّ وَمُسْلِمٌ)

ブニヤルイスラーム アラーハムシー シャハーダティ アンラーイラーハイッラッラーフ

ワ アンナ ムハンマダンラスールッラーヒ ワイカーミッサラーティ ワイータイツザカーティ

ワルハッジ ワサウミラマダーナ



イスラームは、5つの柱の上に建てられています。

アッラーの他に神(崇拝するもの)はなく、ムハンマド様

(サッラッラーフ アライヒ
ワサッラム) は、アッラーの使徒であることを証言すること。

サラート(礼拝)を捧げること。

ザカート(定めめの喜捨)を支払うこと。

ハッジ(大巡礼)をすること。

ラマダーン月のサウム(齋戒)をすること。(アル=ブハーリー、ムスリム)

すべての信者が生涯を通して行う義務である5つの重要な慣行があります。これらの慣行は、イスラム教徒の生活の

基盤を形成するため、柱と呼ばれます。5つの柱は、シャハ
ーダ(証言)、礼拝、喜捨、齋戒、巡礼です。

さいりょう

最良のズィクル

أَفْضَلُ الذِّكْرِ لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

アフダルズィクリ ラーイラーハイッラッラーフ

しょうねん なか さいりょう

「あらゆるズィクル(唱念)の中で最良のズィクルとは
“ラーイラーハ イッラッラー”です。」

(アッニティルミズィー)

「ラーイラーハ イッラッラー」がタウヒード(一つの神を信じる事)

のカリマ(言葉)です。タウヒードの言葉はイスラームの基礎です。

タウヒードという言葉はイスラームへの入り口であり、彼がそれを口

に出し、その心によって信じていなければなりません。



3

サラート

الصَّلَاةُ عَمُودُ الدِّينِ (رَوَاهُ أَبُو نُعَيْمٍ)

アッサラート アムードウッディーン

「礼拝はディーン(イスラームの教え)の柱です。」

(アブーヌアイム)

礼拝はアッラーと私達をつなぐ絆です。

4

天国の鍵

مِفْتَاحُ الْجَنَّةِ الصَّلَاةُ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

ミフターフルジャンナティ アッサラートウ

「天国の鍵とは礼拝です。」

(アッティルミズィー)

天国には8つの扉があり、それらは閉じられています。その扉の

を開ける鍵は1日5回の礼拝をすることです。

ザカート

إِذَا أَدَّيْتَ زَكَاةَ مَالِكَ فَقَدْ أَذْهَبْتَ عَنْكَ شَرَّهُ (رَوَاهُ ابْنُ خُرَيْمَةَ)

イザーアッダイタ ザカーマーリカ ファカドゥ アズハブタ アンカシャッラフ

「あなたが自分の富からザカート(喜捨)を支払うとき、それはあなたの富の悪を取り除きます。」

(イブヌフザイマ)

ザカート(喜捨)とは、お金を貧しい人にあげることでそのお金の悪を取り除き、貧しい人を助けることができます。お金はアッラーからの贈り物とされているので、彼がザカートでお金を使い、貧しい人を助け、それを正當に必要な事に使うなら、彼は地獄の罰から救われるでしょう。そうでなければ、彼はそれを罪深い事に使って地獄に行くでしょう。



ラマダーンのサウム (齋戒)

مَنْ صَامَ رَمَضَانَ إِيمَانًا وَ احْتِسَابًا ، غُفِرَ لَهُ مَا تَقَدَّمَ مِنْ

ذُنُوبِهِ (رَوَاهُ الْبُخَارِيُّ وَمُسْلِمٌ)

マンサーマラマダーナ イーマーナ ワフティサーバン グフィララフ
マータカッダマ ミンザンビヒ

だれ づき しんこう ほうしょう きたい
「誰でもラマダーン月に、信仰と報奨への期待を
も だんじき もの いぜん つみ ゆる
持って断食した者は、以前の罪を許されます。」

(アルニブハーリー、ムスリム)

づき れき たいいんれき げつめ きょうと
ラマダン月はイスラム暦(太陰暦)の9か月目であり、イスラム教徒の
あいだ とくべつ つき み きょう はしら
間で特別な月と見なされ、イスラム教の柱の1つであるサウム
さいかい つき
(齋戒)をする月です。

きかんちゅう しんじゃ びょうきなどりゆう ひと のぞ いんしょく ひか
ラマダン期間中、信者(病気等理由ある人を除く)は飲食を控えま
す。

ハッジ

الْحَجُّ الْمَبْرُورُ لَيْسَ لَهُ جَزَاءٌ إِلَّا الْجَنَّةَ (رَوَاهُ أَحْمَدُ)

アルハッジェル マブルール ライサラフー

ジャザーウン イッラルジャンナタ

よ だいいじゅんれい ほうしょう てんごくいがい
「良いハッジ（大巡礼）の報奨とは、天国以外の

なにもの
何物でもありません。」（アフマド）

よ ただ いと も しと
良いハッジとは、正しいニーヤ(意図)を持ちアッラーの使徒

ほうほう おこな
(サッラッラーフ アライヒ) の方法で行ったものです。
ワサッラム

الاعمال الصالحة

アル アマルル サーリハ

ぜん こう
善行

1

きよ
清め

الطُّهُورُ شَطْرُ الْإِيمَانِ (رَوَاهُ مُسْلِمٌ)

アットゥフル シャトゥルル イーマーン

きよ はんぶん
「清めはイーマーンの半分です。」 (ムスリム)

こころ きよ おな よご きよ
アッラーは心を清めることと同じに汚れを清めることも
めい
命じられています。

2

ミスワーク

السَّوَالُكَ مَطْهَرَةٌ لِلْفَمِ، مَرْضَاةٌ لِلرَّبِّ (رَوَاهُ أَحْمَدُ)

アッスイワーク マトハラトゥッリルファミ マルダートゥッリッラッピ

くち きよ よろこ
「ミスワークは口を清め、アッラーのお喜びを
もたらすものです。」 (アフマド)

き は くち じょうか しゅだん
ミスワーク(木の歯ブラシ)は口を浄化する手段であり、アッラーは
せいけつ あい よげんしゃ さま
清潔さを愛し、それは預言者ムハンマド様(サッラッラーフ・アライヒ)のスンナ
であり、アッラーはミスワーク(木の歯ブラシ)で口を浄化する者をお
よろこ
喜びになります。

3

かく
隠れたサダカ

صَدَقَةُ السِّرِّ تُطْفِئُ غَضَبَ الرَّبِّ (رَوَاهُ الطَّبْرَانِيُّ)

サダカトウツスイツリ トウツイウ ガダバツラツピ

「こっそりとサダカすることは、アッラーの怒りを
しず
静めます。」 (アッタバラニー)

ひと じぶん めいせい ため ほどこ
人にみせびらかしたり、自分の名声の為に施しをするのではなく、
ため つみ びょうき まも
アッラーの為にすれば罪や病気から守られます。



4

よ すす
善い勧め

إِنَّ الدَّالَّ عَلَى الْخَيْرِ كَفَاعِلِهِ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

インナッターッラ アラルハイリ カファーイリヒー

「まことに誰でも善い事に導く人には善い事を行う
人と同じ報奨が与えられます。」 (アッニティルミズィー)

善い事を教える人は、善い事を行う人の助けになるからです。

5

イフタール

مَنْ فَطَرَ صَائِمًا كَانَ لَهُ مِثْلُ أَجْرِهِ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

マン ファッターラ サーイマンカーナラフ ミスル アジュリヒ

「断食をした人に、イフタール(断食開き)を施す人には、断食をした人のような報奨が与えられます。」

(アッニティルミズィー)

断食をしている人に食事を準備する事は、信者の間で愛と連帯を
生み出すからです。

いちばんあい おこな
一番愛される行い

أَحَبُّ الْأَعْمَالِ إِلَى اللَّهِ أَدْوَمُهَا وَإِنْ قَلَّ (رَوَاهُ مُسْلِمٌ)

アハッブルアアマーリ イラッラーヒ アドゥワムハー ワインカッラ

いちばんあい おこな
「アッラーに一番愛される行いとは、たとえそれが
すこ つづ おこな
少しであっても、続けて行われたものです。」

(ムスリム)

ぜんのう もっと あい こうい ちい
全能のアッラーへの最も愛される行為は、たとえそれが小さくても
いってい つづ じてん
一定であるということです。それを続けることは、ある時点でそれを
やめるよりもアッラーに愛されます。



الأداب الإسلامية

アル アーダーブル イスラーミーヤ

イスラムのマナー

1

りょうしん

両親

رِضَا الرَّبِّ فِي رِضَا الْوَالِدِ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

リダッラッビ フィーリダルワーリディ

まんえつ りょうしん まんえつ

「アッラーのご満悦は両親のご満悦にあります。」

(アッニティルミズィー)

このハディースは、アッラーが彼の御喜びを両親の喜び(彼らの
こども いっしょ むす 子供と一緒に)に結びつけ、アッラーの不快感を彼らの両親の不快感
むす の りょうしん よろこ もの
に結びつけたと述べています。ですから、両親を喜ばせる者は
アッラーを喜ばせ、両親を不快にさせる者はアッラーを不快にさせ
ます。

لَا يَرْحَمُ اللَّهُ مَنْ لَا يَرْحَمُ النَّاسَ (رَوَاهُ الْبُخَارِيُّ)

ラーヤルハムッラーフ マンラーヤルハムンナーサ

ひとびと　じ　ひ　しめ　ひと　じ　ひ
 「人々に慈悲を示さない人には、アッラーも慈悲を
 しめ
 示されません。」 (アル＝ブハーリー)

しんじゃ　あわ　もの　かれ　あわ　そうぞう　たい
 信者に憐れみのない者にアッラーは彼を憐れみません。創造に対す

にんげん　じ　ひ　じ　ひ　え　さいだい　りゆう
 る人間の慈悲は、アッラーの慈悲を得る最大の理由の1つです。

し　と　べつ　い
 アッラーの使徒 (サッラッラーフ アライヒ) が別のハディースで言ったよう

じ　ひ　ぶか　ひと　もっと　じ　ひ　ぶか　かた　じ　ひ　しめ
 に、「慈悲深い人には、最も慈悲深いお方によって慈悲を示されま
 す。

ちきゅうじょう　ひとびと　じ　ひ　あた
 地球上の人々に慈悲を与えなさい。そうすればアッラーはあなたに

じ　ひ　あた
 慈悲を与えられるでしょう。」

الْمَرْءُ مَعَ مَنْ أَحَبَّ (رَوَاهُ أَحْمَدُ)

アルマルウ マアマン アハッパ

ひと ふっかつ ひ じぶん す ひと
「人は（復活の日に）、自分が好きな人と
いっしょ
一緒になります。」（アフマド）

ひと よ あい ひと いっしょ ふっかつ ひ いっしょ
人はこの世で愛する人と一緒にいて、復活の日にも一緒にいます。

ひと せかい しと さま
人がこの世界でアッラー、かれの使徒ムハンマド様

(サッラッラーフ アライヒ ワサッラム)、そして善ぜん良りょうな人々を愛するならば、彼かれは

ふっかつ ひ かれ いっしょ らくえん かれ わる ひとびと
復活の日に彼らと一緒に楽園にいるでしょう。もし、彼が悪い人々

あい かれ ふっかつ ひ かれ じごく
を愛しているなら、彼は復活の日に彼らと地獄にいるでしょう。

まね
真似

مَنْ تَشَبَّهَ بِقَوْمٍ فَهُوَ مِنْهُمْ (رَوَاهُ أَبُو دَاوُدَ)

マン タシャッパハ ビカウミンファフワ ミンフム

だれ ほか ひとびと まね ひと
「誰でも他の人々の真似をすれば、その人は
しせん ひとびと ふく
(アッラーの視線で) それらの人々に含まれます。」

(アブーダーワード)

ぜんにん まね ひと ぜんにん かぞ よ ほうしゅう う と あくにん
善人を真似た人は善人に数えられて良い報酬を受け取り、悪人を
まね ひと あくにん かぞ ばつ う
真似た人は悪人に数えられて罰を受けます。

いちばん す ばしょ
一番好きな場所

أَحَبُّ الْبِلَادِ إِلَى اللَّهِ مَسَاجِدُهَا (رَوَاهُ مُسْلِمٌ)

アハッブル ビラーディ イラッラーヒ マサージドゥハー

いちばん す ばしょ
「アッラーが一番好きな場所とはマスジドです。」

(ムスリム)

すうはい ば いえ
マスジドは崇拜の場であり、アッラーの家であるため、アッラーの
もっと あい ばしょ れいはい まな
最も愛されている場所であり、礼拝するため、学ぶためにマスジド
い ひとびと あい
に行く人々もまた、アッラーに愛されます。



ドゥアー

الدُّعَاءُ مَخَّ الْعِبَادَةِ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

アッドゥアーウ ムッフル イバーダ

すうはい ほんしつ

「ドゥアーは崇拜の本質です。」 (アッニティルミズィー)

ドゥアーは求めることを意味します。ドゥアーは崇拜の本質であり、
 イスラームでは崇拜はアッラーにのみ行われるので、何かを求めな
 ければならないときはいつでもアッラーにのみ求めます。

فضيلة العلم والقرآن

ファディーラトゥル イルミ ワルクルアール

知識とクリアーンの美德

ちしき もと い ひとびと かんげい かれ つみ ゆる
知識を求めに行く人々は歓迎され、彼らの罪が許されます。

1

いちばん よ ひと
一番善い人

خَيْرُكُمْ مَنْ تَعَلَّمَ الْقُرْآنَ وَعَلَّمَهُ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

ハイルクム マン タアッラマル クルアーナ ワアッラマフ

なか いちばん よ ひと せい
「あなたたちの中で一番善い人とは、聖クルアーンを
まな おし ひと
学び、それを教える人です。」 (アッ=ティルミズィー)

ことば にんげん さいこう おし
クルアーンはアッラーの言葉であり、人間にとって最高の教えです。

まな おし ひと さいぜん
そのクルアーンを学び、教える人は最善です。



ちしき
イスラームの知識

طَلَبُ الْعِلْمِ فَرِيضَةٌ عَلَى كُلِّ مُسْلِمٍ (رَوَاهُ ابْنُ مَاجَةَ)

タラブル イルミ ファリーダトゥン アラークッリ ムスリミン

ちしき まな
「知識を学ぶことはあらゆるムスリムにとって

ぎ お づ
義務付けられています。」 (イブヌ マージャ)

ちしき ぜんこう ちしき しゅうとく ぎ お づ
知識がなければ善行はできないので、知識の習得が義務付けられて
います。

ウラマー

إِنَّ الْعُلَمَاءَ وَرَثَةُ الْأَنْبِيَاءِ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ وَابْنُ مَاجَةَ)

インナル ウラマーア ワラサトゥル アンビヤー

がくしゃ よげんしゃ そうぞくにん
「ウラマー(学者たち)は預言者たちの相続人です。」

(アッニティルミズィー、 イブヌ マージャ)

よげんしゃ とみ そうぞく のこ ちしき そうぞく
預言者たちは富を相続に残しませんでした。知識は相続されま
す。したがって、学者は預言者の相続人です。

فضيلة تلاوة القرآن

ファディーラトゥ ティラーワティル クルアーン

クルアーンを^{どく}読^{しゅう}誦^びすることの^び美^{どく}徳

クルアーンの^{どくしゅう}読誦には、^{おお}多くの^{りてん}利点があります。クルアーン
を^{どくしゅう}読誦すれば^{こんなん}困難から^{すく}救われます。天使達は^{てんしたち}その人の^{ひと}ために
^{じひ}慈悲を^{いの}祈ります。

※^{どくしゅう}読誦とは^{こえ}声を出して^だ読む^よこと^{こと}

1

スーラトゥル・ファーティハ(1章)

فِي فَاتِحَةِ الْكِتَابِ شِفَاءٌ مِّنْ كُلِّ دَاءٍ (رَوَاهُ الدَّارِمِيُّ مُرْسَلًا)

フィー ファーティハティル キタービ シファーウン ミンクッリダー

「スーラトゥル・ファーティハには、^{やまい}あらゆる病への
^{いや}癒しがあります。」 (アッ=ダーリミー)



スーラト・ヤースィーン(36章)

مَنْ قَرَأَ آيِسَ فِي صَدْرِ النَّهَارِ قُضِيََتْ حَوَائِجُهُ (رَوَاهُ الدَّارِمِيُّ مُرْسَلًا)

マン カラア ヤースィーン ヒサッドリンナハーリ クディヤット ハワーイジュフ

だれ いちにち はじ

よ

「誰でも一日の始めにスーラト・ヤースィーンを^よ読め

ば、その日の^ひ彼に^{かれ}必要な^{ひつよう}ことは^{じっげん}すべて実現する。」

(アッ=ダーリミー)

スーラト・ヤースィーンを^よ読む^{こと}事を^{しゅうかん}習慣にする人は、人生が

^{じゅんちょう}順調に進み、^{すす}その^{いみ}意味を^{めいそう}瞑想する人は、この人生の^{ひと}平和の^{じんせい}源^{へいわ}の^{みなもと}源^{みなもと}で

ある^{しんらい}アッラーへの^{しんねん}信頼と^{かくじつ}信念を^{たか}確実に^{たか}高める^{たか}でしよう。アッラーが

この人生と^{じんせい}来世に^{らいせ}平和を^{へいわ}与えて^{あた}くださいますように。アーミー

الاخلاق الحسنة

アル アハラークル ハサナ

よ せい かく
良い性格

1

よ せい かく
良い性格

خِيَارُكُمْ أَحْسَنُكُمْ أَخْلَاقًا (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

ヒヤールクム アハースィヌクム アフラーカン

なか いちばん よ ひと

「あなたたちの中で一番良い人とは、

せい かく いちばん よ ひと
性格の一番良い人です。」 (アッ=ティルミズィー)

しんじゃ わる ことば おこな さ
信者は悪い言葉や行いを避けなければなりません。

たが よ ことば つか よ おこな
互いに良い言葉を使い、良い行いをするようにしましょう。



タクワー

إَتَّقِ اللَّهَ حَيْثُمَا كُنْتَ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

イッタキッラーハ ハイスマークンタ

「あなたがどこにいても、アッラーをおそを畏れなさい。」

(アッティルミズィー)

アッラーの命令にめいれいに従したがい、あなたがたがどこにいても罪を犯さないこと。そして、すべての場合においてアッラーにばあい背くことのないようそむに。

けんきょ
謙虚さ

مَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلَّا رَفَعَهُ اللَّهُ (رَوَاهُ مُسْلِمٌ)

マータワーダア アハダッラーヒ イッラー ラファアフッラー

「誰でもアッラーのお喜びを得るために謙虚に

振る舞えば、アッラーは彼を高められます。」(ムスリム)

謙遜は、人々の間の愛情、愛、平等を強めて、人々の心から

羨望と憎しみを消し去ります。

サラーム

الْبَادِيُّ بِالسَّلَامِ بَرِيءٌ مِّنَ الْكِبْرِ (رَوَاهُ الْإِسْهَقِيُّ)

アルバーディウ ビッサラーミ バリーウン ミナルキブリ

「サラームを先にする人は、

高慢さ(いばる事)から守られます。」 (アルニバイハキー)

はじめにサラームする人は、彼の行動が謙虚であり、純粹さと優し

さを示しているので、傲慢から解放されます。

ハヤー

الْحَيَاءُ شُعْبَةٌ مِّنَ الْإِيمَانِ (رَوَاهُ أَحْمَدُ)

アルハヤーウ シュウバトゥンミナルイーマーン

「恥じらいはイーマーンの(重要な)枝の1つです。」

(アフマド)

謙虚さは、イーマーン(信仰)の最も重要な部分の1つで、不快なも

のを避けるように促します。



沈黙

مَنْ صَمَتَ نَجَا (رَوَاهُ أَحْمَدُ وَالتِّرْمِذِيُّ)

マン サマタ ナジャー

ちんもく たも ひと せいこう

「沈黙を保った人は、成功しました。」

(アフマド、アッティルミズィー)

ちんもく まも ひと わるくち うそ ひぼうちゅうしょう むだ
沈黙を守っている人は、悪口、嘘、誹謗中傷、無駄なうわさ

ばなし けんか した つみ のが
話、喧嘩などの舌の罪から逃れます。

感謝

مَنْ لَمْ يَشْكُرِ النَّاسَ لَمْ يَشْكُرِ اللَّهَ (رَوَاهُ أَحْمَدُ)

マンラム ヤシュクリンナーサ ラムヤシュクリッター

ひとびと かんしゃ しめ ひと

「人々に感謝を示さない人は、

かんしゃ しめ

アッラーにも感謝を示しません。」 (アフマド)

かんしゃ めい ひとびと しんせつ かんしゃ
アッラーが感謝を命じられたにもかかわらず、人々の親切に感謝し

ひと かんしゃ
ない人は、アッラーにも感謝しません。

りんじん
隣人

لَيْسَ الْمُؤْمِنُ الَّذِي يَشْبَعُ وَجَارُهُ جَائِعٌ إِلَىٰ جَنْبِهِ (رَوَاهُ الْبَيْهَقِيُّ)

ライサル ムムミンヌラズイー ヤシュバウ ワジャールフ ジャーイウン イラージャンビヒ

りんじん なか す じぶん はら た
「隣人がお腹の空いたままで、自分は腹いっぱい食
るような者は、完全な信者ではありません。」

(アルニバイハキー)

おお ちゅうい はら りんじん けんり ひとびと もっと
イスラームが多くの注意を払ってきた隣人の権利は、人々の最も
じゅうよう けんり しんじゃ りんじん くる じぶん
重要な権利の1つです。信者は隣人が苦しんでいるのに、自分だけ
み りんじん ちゅうい はら てきせつ
を満たすために隣人に注意を払わないことは、まったく適切ではあ
りません。



المنهيات

アル マンヒヤートウ

アッラーと彼の使徒が禁じられたこと

この章には、最悪の罪についての記述があります。これらの罪を犯した人は、悔い改めるまで天国に行く前に、必ず罪に対する罰を受けるでしょう。

1

ふせい
不正

اتَّقُوا الظُّلْمَ فَإِنَّ الظُّلْمَ ظُلُمَاتٌ يَوْمَ الْقِيَامَةِ (رَوَاهُ مُسْلِمٌ)

イッタクヅルマ ファイッナツズルマ ズルマートウン ヤウマルキヤーマ

ふせい ようじん

「不正に用心せよ、

不正は復活の日における最大の闇だから。」

(ムスリム)

分かっているながら悪い行いをするのは、復活の日には最大の悪事

とみなされ、真っ暗闇の中に置かれます。

かげぐち
陰口

لَا يَدْخُلُ الْجَنَّةَ نَمَّامٌ (رَوَاهُ مُسْلِمٌ)

ラー ヤドゥフルルジャンナタ ナンマーム

ひと ちゅうしょう もの てんごく はい

「人を中傷する者は天国に入れません。」(ムスリム)

あくい も ひと べつ ひと つた ひと てんごく はい
悪意を持って、ある人のメッセージを別の人に伝える人は天国に入
れません。

けつえん
血縁

لَا يَدْخُلُ الْجَنَّةَ قَاطِعٌ (رَوَاهُ مُسْلِمٌ)

ラー ヤドゥフルルジャンナタ カーティウン

けつえん た しんせき わる あつか ひと てんごく

「血縁を絶ち、親戚を悪く扱うような人は、天国に

はい
入れません。」(ムスリム)

かれ もっと ちか しんせき かんけい た き ひと てんごく はい
彼の最も近い親戚からの関係を断ち切る人は天国に入れません。



傲慢

لَا يَدْخُلُ الْجَنَّةَ مَنْ كَانَ فِي قَلْبِهِ مِثْقَالُ ذَرَّةٍ مِّنْ كِبَرٍ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

ラーヤドゥフルジャンナタ マン カーナ フィー カルビヒー ミスカール ザッラティン
ミン キ布林

「ほんの僅かでも傲慢ごうまんさを持つ者は、

てんごく はい

天国に入れません。」 (アッ=ティルミズィー)

ひとびと みくだ ひと てんごく はい

人々を見下す人は天国に入れません。

れいはい す こと
礼拝を捨てる事

بَيْنَ الْعَبْدِ وَبَيْنَ الْكُفْرِ تَرْكُ الصَّلَاةِ (رَوَاهُ التِّرْمِذِيُّ)

バイナッラジュリ ワバナルクフリ タルクッサラー

「サラート (礼拝) を捨てる事はクフル (不信) に

つながる事である。」 (アッ=ティルミズィー)

ふしんしゃ れいはい

不信者は礼拝しないので、礼拝を離れることは不信につながります。

れいはい はな

ふしん

ハラーム

لَا يَدْخُلُ الْجَنَّةَ جَسَدٌ غُذِيَ بِالْحَرَامِ (رَوَاهُ الطَّبْرَانِيُّ)

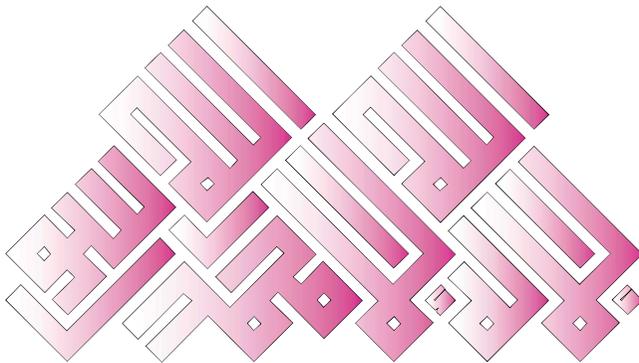
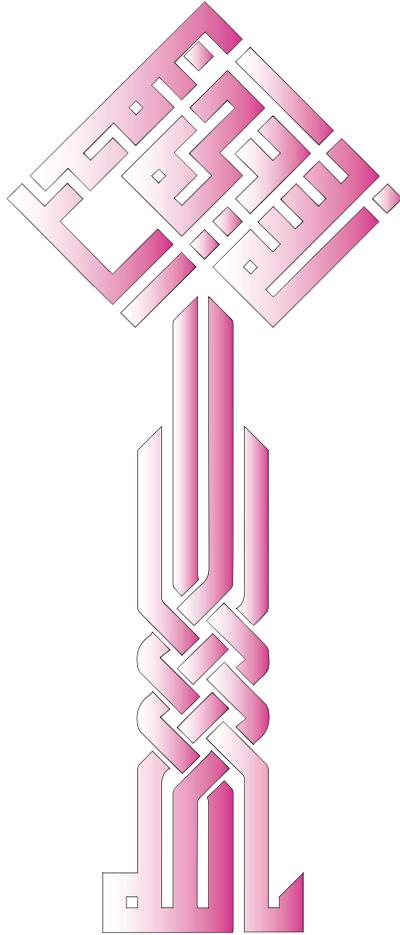
ラーヤドゥフルルジャンナタ ジャサドゥン グズィヤ ビルハラーム

「ハラーム（^{きん}禁じられたもの）を^{あた}与えられた^{からだ}体は

^{てんごく}天国^{はい}に入れ^{ません}ません。」（アッタバラニー）

^{きん}禁じられた^{もの}物を^た食べ、^{ぬす}盗んだ^{もの}もの、^{わる}悪い^{ほうほう}方法^{かせ}で^{かせ}稼いだ^{かね}お金^{せいかつ}で生活し

^{てんごく}ていれ^{はい}ば、天国に入れなくなるでしょう。





بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
مَدِينَةُ
دَوَا

اُمِّي

الدعاء



または

❦ ② イスティフターフのドゥアー（ワッジャハトゥ） ❦

وَجَّهْتُ وَجْهِيَ لِلَّذِي فَطَرَ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضَ حَنِيفًا وَمَا

أَنَا مِنَ الْمُشْرِكِينَ، إِنَّ صَلَاتِي وَنُسُكِي وَمَحْيَايَ وَمَمَاتِي لِلَّهِ

رَبِّ الْعَالَمِينَ، لَا شَرِيكَ لَهُ، وَبِذَلِكَ أُمِرْتُ وَأَنَا مِنَ الْمُسْلِمِينَ

ワッジャフトゥ ワジュヒヤ リッラーズィー ファタラッサマーワーティ ワルアルダ
ハニーファン ワ マー アナー ミナルムシュリキーン 「インニー サラーティー
ワ ヌスキー ワ マフヤーヤ ワ ママーティー リッラーヒ ラッビルアーラミーナ
ラー シャリーカ ラフ ワ ビザーリカ ウミルトゥ ワ アナ ミナルムスリミーン」

わたし てんち そうぞうしゅ たしんきょうと じゅんせい しんじゃ

「私は天地の創造主に、多神教徒ではなく純正な信者

として顔を向けました。私の礼拝、献身行為、生、

そして死は並ぶものなきお方

万有の主アッラーにこそ捧げられます。

かれに並ぶ者はいません。私は実にそのように

命じられ、そして帰依した者たちの一人です。」



❖❖❖ 3 ルクーウの時 ^{とき} ❖❖❖

(3回) سُبْحَانَ رَبِّيَ الْعَظِيمِ

スブハーナ ラッビヤルアズィーム

そんげん わたし しゅ たた

「尊厳なる私の主を讃えます。」

❖❖❖ 4 ルクーウから起き上がる時 ^{お あ とき} ❖❖❖

سَمِعَ اللَّهُ لِمَنْ حَمِدَهُ

サミアッラーフ リマン ハミダ

かれ しょうさん もの こえ

「アッラーは、彼を称讃する者の声を

^き
お聞きになられます。」

❖❖❖ 5 ルクーウから起き上がった時 ^{お あ とき} ❖❖❖

رَبَّنَا لَكَ الْحَمْدُ

ラッバナー ラカルハムドゥ

わたし しゅ しょうさん

「私たちの主よ、あなたにこそ称讃あれ。」

サジダの時^{とき}

(3回) سُبْحَانَ رَبِّيَ الْأَعْلَى

スプハーナ ラッビヤル アアラー

しこう わたし しゅ たた

「至高なる私の主に讃えあれ。」

2つのサジダの間に座っている時^{とき}

رَبِّ اغْفِرْ لِي

ラッビグフィルリー

わたし しゅ わたし ゆる

「私の主よ、私を赦したまえ。」

التَّحِيَّاتُ لِلَّهِ وَالصَّلَوَاتُ وَالطَّيِّبَاتُ ، السَّلَامُ عَلَيْكَ أَيُّهَا النَّبِيُّ
 وَرَحْمَةُ اللَّهِ وَبَرَكَاتُهُ ، السَّلَامُ عَلَيْنَا وَعَلَى عِبَادِ اللَّهِ الصَّالِحِينَ ،
 أَشْهَدُ أَنْ لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ ، وَأَشْهَدُ أَنَّ مُحَمَّدًا عَبْدُهُ وَرَسُولُهُ

アッタヒーヤートゥ リッラーヒ ワッサラワートゥ ワッタイパートゥ アッサラーム
 アライカ アイユハンナビーユ ワラフマトゥッラーヒ ワバラカートゥフ アッサラーーム
 アライナー ワアラー イバーディッラーヒッサーリヒーン アシュハドゥ アッラーイラーハ
 イッラッラーフ ワアシュハドゥ アンナ ムハンマダン アブドゥフ ワラスूर्フ

そんすう らいさん しんせい きわ き

「尊崇と礼賛は、神聖の極みのアッラーにのみ帰せら

よげんしゃ うえ へいあん

れます。預言者よ、あなたの上に平安とアッラーのご

じひ しゅくふく わたし

慈悲と祝福がありますように。私たちに、そして

けいけん しもべ へいあん

アッラーの敬虔な僕たちに平安がありますように。

わたし ほか かみ すうはい

私はアッラーの他に神(崇拜するもの)はないことを

しょうげん わたし さま (サッラッラーフ アライヒ)
 証言します。また私はムハンマド様 (ワッサラム)

しもべ しと しょうげん

はアッラーの僕であり、使徒であることを証言しま
 す。」

※ 9 タシャッフドゥ後の預言者様への祈願 ※

اللَّهُمَّ صَلِّ عَلَى مُحَمَّدٍ وَعَلَى آلِ مُحَمَّدٍ، كَمَا صَلَّيْتَ عَلَى

إِبْرَاهِيمَ وَعَلَى آلِ إِبْرَاهِيمَ إِنَّكَ حَمِيدٌ مَّجِيدٌ،

اللَّهُمَّ بَارِكْ عَلَى مُحَمَّدٍ وَعَلَى آلِ مُحَمَّدٍ، كَمَا بَارَكْتَ عَلَى

إِبْرَاهِيمَ وَعَلَى آلِ إِبْرَاهِيمَ إِنَّكَ حَمِيدٌ مَّجِيدٌ.

アッラーフンマ サッリ アラー ムハンマディン ワ アラー アーリ ムハンマディン
 カマー サッライタ アラー イブラーヒーマ ワ アラー アーリ イブラーヒーマ インナカ
 ハミードゥン マジードゥ アッラーフンマ バーリク アラー ムハンマディン ワ アラー
 アーリ ムハンマディン カマー バーラクタ アラー イブラーヒーマ ワ アラー
 アーリ イブラヒーマ インナカ ハミードゥン マジードゥ

「アッラーよ、あなたがイブラーヒーム様と彼のご
 一族に恩恵をお与えになったように、ムハンマド様と
 ムハンマド様のご一族に恩恵をお与えください。

あなたこそ称讃されるに相応しい御方、最も高貴なる
 御方です。アッラーよ、あなたがイブラーヒーム様と
 彼のご一族を祝福されたように、ムハンマド様と

ムハンマド様のご一族を祝福してください。あなたこ
 そが、称讃されるに相応しい御方、最も高貴なる御方
 です。」



اللَّهُمَّ رَبَّنَا آتِنَا فِي الدُّنْيَا حَسَنَةً، وَفِي الآخِرَةِ حَسَنَةً، وَقِنَا

عَذَابَ النَّارِ.

アッラーフンマ ラッバナー アーティナー フィッドウンヤー ハサナ

ワフィルアーヒラティ ハサナ ワキナー アザーバンナール

わ しゅ わたし げんせ よ
 「我が主よ、私たちに現世において善きものを、また
 らいせ よ さず
 来世においても善きものをお授けください。そして、
 わたし ごうか ちょうばつ まも くだ
 私たちを業火の懲罰からお守り下さい。」

اللَّهُمَّ إِنِّي ظَلَمْتُ نَفْسِي ظُلْمًا كَثِيرًا، وَلَا يَغْفِرُ الذُّنُوبَ إِلَّا
 أَنْتَ، فَاعْفِرْ لِي مَغْفِرَةً مِّنْ عِنْدِكَ، وَارْحَمْنِي إِنَّكَ أَنْتَ الْغَفُورُ

الرَّحِيمُ.

アッラーフンマ インニー ザラムトゥ ナフスィ ズルマンカスィーラン ワラー
ヤグフィルズヌーバ イッラー アンタ ファグフィルリー マグフィラタン ミン
インディカワルハムニー インナカ アンタルガフルッラヒーム

「アッラーよ、^{わたし} ^{たくさん} ^{まち} ^が 私は沢山間違いをしました。
そして罪^{つみ}を赦^{ゆる}すお方は、あなたをおいて他^{ほか}にありませ
ん。ですから私^{わたし}を赦^{ゆる}し、私^{わたし}にご慈悲^{じひ}を垂^たれて下^{くだ}さい。
あなたこそよく赦^{ゆる}すお方、慈悲^{じひ}深^{ぶか}きお方^{がた}であられま
す。」

اللَّهُمَّ اغْفِرْ لِي مَا قَدَّمْتُ وَمَا أَخَّرْتُ، وَمَا أَسْرَرْتُ وَمَا أَعْلَنْتُ،
وَمَا أَسْرَفْتُ، وَمَا أَنْتَ أَعْلَمُ بِهِ مِنِّي، أَنْتَ الْمُقَدِّمُ، وَأَنْتَ
الْمُؤَخِّرُ، لَا إِلَهَ إِلَّا أَنْتَ.

アッラーフンマグフィルリー マー カッドムトゥ ワマー アッハルトゥ ワマー アスラルトゥ
ワマー アアラントゥ ワマー アスラフトゥ ワマー アンタ アアラム ビヒー ミンニー
アンタルムカッディム ワ アンタルムアッヒル ラーイラーハイッラーアンタ

「アッラーよ、私^{わたし}が既^{すで}に犯^{おか}してしまった、そしてこれ
から犯^{おか}すであろう過^{あやま}ちをお赦^{ゆる}し下^{くだ}さい。また私^{わたし}が密^{ひそ}



かに、公に犯した過ちと私の行き過ぎ、そしてあなた
が私よりもそれらをよくご存知であるところの私の
罪をお赦し下さい。あなたこそお望みのことを、前
に進め、遅らせるお方。あなたの他に神（崇拝するもの）
はありません。」

اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنْ عَذَابِ الْقَبْرِ، وَمِنْ عَذَابِ جَهَنَّمَ، وَ
مِنْ فِتْنَةِ الْمَحْيَا وَالْمَمَاتِ، وَمِنْ شَرِّ فِتْنَةِ الْمَسِيحِ الدَّجَالِ.

アッラーフンマ インニー アウーズ ビカ ミン アザービルカブル。ワ ミン アザービ
ジャハンナマ ワ ミン フィトゥナティルマフヤー ワルママーティ ワ ミン シャッリ
フィトゥナティル マスィーヒッドジャール

「アッラーよ、私はあなたに墓の懲罰、地獄の
懲罰、生と死の試練、ダッジャールの災難からの
ご加護を願います。」

たからのものです。崇高すうこうさと榮譽えいよの主しゅよ、あなたは
祝福しゅくふくにあふれておられます。」

لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ وَحْدَهُ لَا شَرِيكَ لَهُ، لَهُ الْمُلْكُ وَلَهُ الْحَمْدُ، وَهُوَ
عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ. اللَّهُمَّ لَا مَانِعَ لِمَا أَعْطَيْتَ، وَلَا مُعْطِيَ لِمَا
مَنْعْتَ، وَلَا يَنْفَعُ ذَا الْجَدِّ مِنْكَ الْجَدُّ.

ラーイラーハイッラッラーフ ワフダフ ラー シャリーカラフー ラフルムルク
ワラフル ハムドゥ ワフワ アラー クッリ シャイインカディール。
アッラーフンマ ラー マーニア リマーアアタイタ ワラームウッティヤ
リマーマナアタ ワラー ヤンファウ ザルジャッディ ミンカルジャッドゥ

「アッラーほかの他かみに神すうはい（崇拝するもの）はかれいません。彼
は、唯一ゆいいつで並ぶ者なら無ものきお方な、主権がたと称讃しゅけんはしょうさんかれの御許みもと
にあり、彼は全能かの御方ぜんとうです。アッラーよ、あなたが
与えたあたものを禁きんじる者ものはなく、あなたが禁きんじればほか
に与えるあた者ものはおりません。（現世げんせにおける）どんな優すぐれ
た境遇きょうぐうも、あなたの御許みもとでの真しんの幸福こうふくを益えきすることは
ありません。」

(各33回)

- 1) **سُبْحَانَ اللَّهِ** スブハーナッラー アッラーにこそ^{すべ}全ての^{しょうさん}の称讚あれ。
- 2) **الْحَمْدُ لِلَّهِ** アルハムドゥリッラー アッラーに^{たた}讚えあれ。
- 3) **اللَّهُ أَكْبَرُ** アッラーフアクバル アッラーは^{もっと}最^{いだい}も偉大なり。

※ ﴿﴾ 13 クヌートのドゥアー ﴿﴾ ※

اللَّهُمَّ إِنَّا نَسْتَعِينُكَ ، وَنَسْتَغْفِرُكَ ، وَنُؤْمِنُ بِكَ ، وَنَتَوَكَّلُ
عَلَيْكَ ، وَنُشْنِي عَلَيْكَ الْخَيْرَ ، وَنَشْكُرُكَ ، وَ لَا نَكْفُرُكَ ، وَ
نَخْلَعُ وَنَتْرُكُ مَنْ يَفْجُرُكَ ،
اللَّهُمَّ أَيَّاكَ نَعْبُدُ ، وَ لَكَ نُصَلِّي وَ نَسْجُدُ ، وَ إِلَيْكَ نَسْعَى وَ
نَحْفِدُ ، وَ نَرْجُو رَحْمَتَكَ ، وَ نَخْشَى عَذَابَكَ ، إِنَّ عَذَابَكَ
بِالْكَفَارِ مُدْحِقٌ .



アッラーフンマ インナー ナスタイースカ ワナスタグフィルカ ワヌツミヌビカ
ワナタワッカル アライカ ワヌスニー アライカルハイラ ワナシュクルカ ワラーナクフルカ
ワナフラウ ワナトゥルク マンヤフジュルカ

アッラーフンマ イイヤーカー ナアブドゥ ワラカヌサッリ ワナスジュドゥ ワイライカ
ナスアー ワナフフィド ワナルジュー ラフマタカ ワナフシャー アザーバカ インナ
アザーバカ ビルクッファーリ ムルヒク

「アッラーよ、^{わたし}私たちは^{たす}あなたに^{ゆる}お助けと^こお赦しを請
^{もと}い^{わたし}求めます。私たちはあなたを^{しんこう}信仰し、あなたに^{ゆだ}委ね
ます。そしてあなたをよく^{さんび}讚美し、^{かんしゃ}感謝します。私^{わたし}た
ちは、あなたに対して^{たい}恩^{おん}知らずなことはしません。
そしてあなたに^{ふじゅうじゅん}不従順な^{もの}者から私^{わたし}たちは^{そむ}背^さき去りま
す。アッラーよ、あなたを私^{わたし}たちは^{すうはい}崇拜し、あなたに
^{いの}祈^{ひざまつ}り^む跪^{ほんそう}き、あなたへと向^{ほうし}かって^{ほうし}奔^{ほうし}走し、奉^{ほうし}仕^{ほうし}し、あ
なたのご^じ慈^ひ悲^{ねが}を願^{ねが}い、あなたのご^{ちょうばつ}懲^{おそ}罰^{おそ}を恐^{おそ}れます。あな
たのご^{ちょうばつ}懲^{かなら}罰^ふは^ふ必^ふず不^ふ信^ふ仰^ふ者^ふたち^ふに降^ふりか^ふかり^ふます。」

または

اللَّهُمَّ اهْدِنِي فِيمَنْ هَدَيْتَ، وَعَافِنِي فِيمَنْ عَافَيْتَ، وَتَوَلَّنِي
 فِيمَنْ تَوَلَّيْتَ، وَبَارِكْ لِي فِي مَا أَعْطَيْتَ،
 وَقِنِي شَرَّ مَا قَضَيْتَ، إِنَّكَ تَقْضِي وَلَا يُقْضَى عَلَيْكَ، وَإِنَّهُ لَا
 يَدُلُّ مَنْ وَّالَيْتَ، وَلَا يَعِزُّ مَنْ عَادَيْتَ، تَبَارَكَتَ رَبَّنَا
 وَتَعَالَيْتَ.

アッラーフンマハディニー フィーマン ハダイタ ワ アーフィニー フィーマン
 アーファイタ ワ タワッラーニー フィーマン タワッライタ ワ バーリクリー フィーマー
 アアタイタ ワ キニー シャッラ マー カダイタ インナカ タクディー ワラー
 ユクダー アライカ ワインナフー ラー ヤズィッル マン ワーライタ ワラー ヤイッズ
 マン アーダイタ タバーラクタ ラッバーナ ワ タアーライタ

「アッラーよ、あなたが導かれた者のように私を導
 いて下さい。あなたが護った者のように私を護って下
 さい。あなたがその諸事を引き受けられた者のよう
 に、私の諸事をお引き受け下さい。そしてあなたが与
 えて下さった物において私を祝福してください。そし
 てあなたが運命付けた悪から私を御護り下さい。
 あなたこそが判決を下されたお方で、判決される者で



は
あ
り
ま
せ
ん。
あ
な
た
は、
あ
な
た
が
ほ
ご
も
の
保
護
さ
れ
た
者
を
は
ず
か
し
辱
め
る
こ
と
は
あ
り
ま
せ
ん。
そ
し
て
あ
な
た
か
ら
て
き
た
い
敵
対
さ
れ
た
者
は、
も
の
けん
せい
え
権
勢
を
得
る
こ
と
は
あ
り
ま
せ
ん。
私
た
ち
の
わ
た
し
の
主
よ、
あ
な
た
は
し
ゅ
く
ふ
く
あ
ふ
す
う
こ
う
お
か
た
祝
福
に
溢
れ
た
崇
高
な
御
方
で
す。
」



にちじょうせいかつ かんけい

日常生活に関するドゥアー

14 ^{めざ}目覚めのドゥアー

أَلْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي أَحْيَانَا بَعْدَ مَا أَمَاتَنَا وَإِلَيْهِ النُّشُورُ

アルハムドゥリッラーヒッラズィー アハヤーナー バアダ マー アマータナー
ワイライヒンヌジュール

わたし し あと い かえ し ご かれ
「私たちを死なせた後に生き返らせ、また死後、彼の

みもと わたし ふっかつ かた
御許に私たちを復活させるお方

しょうさん
アッラーに称讃あれ。」

15 ^{はい}トイレに入るときのドゥアー

اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنَ الْخُبْثِ وَالْخَبَائِثِ

アッラーフンマインニー アウズピカ ミナルフブスィ ワルハバーイス

わたし だんじょ あくま
「アッラーよ、私は男女の悪魔からあなたに

かご もと
ご加護を求めます。」

16 トイレから出た時のドゥアー

غُفْرَانِكَ

グフラーナカ

「あなたに御赦しを求めます。」

أَلْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي أَذْهَبَ عَنِّي الْأَذَى وَعَافَانِي

アルハムドゥリッラーヒッラズィ ********* アズハバ アンニルアザー ワ アーファーニー

「私から害を取り除き、健康をくださる

アッラーに称讚あれ。」

17 服を脱ぐ時のドゥアー

بِسْمِ اللَّهِ

ビスミッラー

「アッラーの御名において。」

18 ちやくいじ 着衣時のドゥアー

أَلْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي كَسَانِي هَذَا، وَرَزَقَنِيهِ مِنْ غَيْرِ حَوْلٍ مِنِّي وَلَا

قُوَّةٍ

アルハムドゥリッラーヒッラズィー カサーニー ハーザー ワラザカニーヒ ミンガイリ
ハウリンミンニーワラー クウワ

わたし ふく き めぐみ あた
「私にこの服を着させ恵みを与えてくださった
アッラーに称讚あれ。」

19 まえ ウドゥーの前のドゥアー

بِسْمِ اللَّهِ

ビスミッラー

みな
「アッラーの御名において。」

20 ウドゥーが^お終わった^{あと}後のドゥアー

أَشْهَدُ أَنْ لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ وَحْدَهُ لَا شَرِيكَ لَهُ، وَأَشْهَدُ أَنَّ

مُحَمَّدًا عَبْدُهُ وَرَسُولُهُ

アシュハドゥ アッラー イラーハイッラッラーフ ワハダフ ラーシャリーカラフ

ワアシュハドゥ アンナ ムハンマダン アブドゥッ ワラスールフー

ゆいいつ ほか かみ すうはい

「唯一なるアッラーの他に神（崇拜するもの）はな

く、^{かれ}彼に^{なら}並ぶものはいないことを^{わたし}私は^{しょうげん}証言します。

また、ムハンマド様（^{さま}サッラッラーフ^{ワサッラム} アライヒ）は

^{かれ}彼の^{しもべ}僕であり、^し使徒であることを^{わたし}私は^{しょうげん}証言します。」

اللَّهُمَّ اجْعَلْنِي مِنَ التَّوَّابِينَ، وَاجْعَلْنِي مِنَ الْمُتَطَهِّرِينَ

アッラーフンマジュ アルニー ミナッタッワービーナ ワジュアルニー ミナルムタタッヒリーン

「アッラーよ、^{わたし}私を^{かいご}よく悔悟する者に、^{もの}そしてよく

^{しんしん}心身を^{きよ}清める者として^{もの}下さい。」

21 いえ で とき 家を出る時のドゥアー

بِسْمِ اللَّهِ تَوَكَّلْتُ عَلَى اللَّهِ، لَا حَوْلَ وَلَا قُوَّةَ إِلَّا بِاللَّهِ

ビスミッラーヒ タワッカルトゥ アラッラーヒ ラー ハウラ
ワラー クウワタ イッラービッラー

みな
「アッラーの御名において。

わたし み ゆだ
私はアッラーにこの身を委ねます。

ほか いりよく きょうだい
アッラーの他にいかなる威力も強大なるものも
ありません。」

22 いえ はい とき 家に入る時のドゥアー

بِسْمِ اللَّهِ وَلَجْنَا، وَبِسْمِ اللَّهِ خَرَجْنَا، وَعَلَى رَبِّنَا تَوَكَّلْنَا

ビスミッラーヒ ワラジュナー ワ ビスミッラーヒ ハラジュナー
ワ アラーラッピナー タワッカルナー

みな わたし
「アッラーよ、アッラーの御名において私たちは

はい みな わたし で
入り、アッラーの御名において私たちは出ました。

わたし しゅ すべ まか
そして私たちの主に全てをお任せしました。」

※❁23 ^{はい} ^{とき} マスジドに入る時のドゥアー

اللَّهُمَّ افْتَحْ لِي أَبْوَابَ رَحْمَتِكَ

アッラーフンマフタフリー アブワーバ ラフマティカ

「アッラーよ、あなたのご慈悲の扉を私に
お開き下さい。」

※❁24 ^で ^{とき} マスジドから出る時のドゥアー

اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ مِنْ فَضْلِكَ

アッラーフンマ インニー アスアルカ ミンファドゥリカ

「アッラーよ、私にあなたの恩恵をお恵み下さい。」

※❁25 ^き ^{とき} アザーンを聞いた時のドゥアー

اللَّهُمَّ رَبِّ هَذِهِ الدَّعْوَةِ التَّامَّةِ، وَالصَّلَاةِ الْقَائِمَةِ، اٰتِ مُحَمَّدًا
الْوَسِيْلَةَ وَالْفَضِيْلَةَ، وَابْعَثْهُ مَقَامًا مَّحْمُوْدًا فِي الَّذِي وَعَدْتَهُ، اِنَّكَ
لَا تُخْلِفُ الْمِيْعَادَ.

アッラーフンマ ラッバハーズィヒッダアワティッターンマティ ワッサラーティルカーイマ
アーティ ムハンマダニル ワスィーラタ ワルファディーラ ワブアスフ マカーマン
マハムーダニラズィーワアッタフ インナカ ラー トゥフリフル ミーアードゥ

「アッラーよ、この完成された呼びかけと繰り返し続

く礼拝の主よ、ムハンマド様（ サッラッラーフ アライヒ ）に

天国における高い栄誉と位階を与え、あなたが彼に

約束されたところの賞賛に溢れた位階に彼を蘇らせ

たまえ、本当にあなたは約束を反故にされる事があり

ません。」

26 預言者様（ サッラッラーフ アライヒ ）の名前を聞いた時

صَلَّى اللهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ

サッラッラーフ アライヒ ワサッラム

「彼（預言者ムハンマド様）と彼の御家族に、

アッラーの慈悲と、平安がありますように。」

しゅうしんじ
②7 就寝時のドゥアー

اللَّهُمَّ بِاسْمِكَ أَمُوتُ وَأَحْيَا

アッラーフンマ ビスミカ アムートゥ ワ アフヤー

「アッラーよ、あなたの御名みなにおいて私わたしは死しに、
そして生いきます。」

(各33回)

- 1) سُبْحَانَ اللَّهِ スブハーナッラー アッラーにこそ全ての称讚すべ しょうさんあれ。
- 2) الْحَمْدُ لِلَّهِ アルハムドゥリッラー アッラーに讃えたたあれ。
- 3) اللَّهُ أَكْبَرُ アッラーフアクバル アッラーは最もっとも偉大いだいなり。



いんしょく かんけい

飲食に関するドゥアー

28 食前のドゥアー

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

ビスミッラー-ヒッラフマー-ニッラヒーム

「慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。」

ビスミッラーを言い忘れた時

بِسْمِ اللَّهِ أَوْلَةً وَأَخْرَهُ

ビスミッラー-ヒ アッワラフー ワアー-ヒラフ

29 「始まりと終わりに、アッラーの御名において
(食事します)。」

30 食後のドゥアー しょくご

الْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي أَطْعَمَنَا وَسَقَانَا، وَجَعَلَنَا مِنَ الْمُسْلِمِينَ

アルハンドゥリッラーヒッラズィー アトゥアマナ ワサカーナー ワジャアラナー
ミナル ムスリミン

わたし た もの た の もの の わたし
「私たちに食べ物を食べさせ、飲み物を飲ませ、私
たちをムスリムにしてくれたアッラーに称讃あれ。」
しょうさん

31 食事を振舞った者へのドゥアー しょくじ ふるま もの

اللَّهُمَّ بَارِكْ لَهُمْ فِي مَا رَزَقْتَهُمْ، وَاعْفِرْ لَهُمْ وَارْحَمَهُمْ

アッラーフンマ バーリク ラフム フィーマラザクタフム ワグフィル ラフム ワルハムフム

「アッラーよ、あなたが彼らに御恵みになられたもの
において、彼らを祝福して下さい。
かれ おめぐ
かれ しゅくふく くだ
そして彼らを赦し、彼らにご慈悲をおかけ下さい。」
かれ ゆる くれ じ ひ くだ

32 だれ いえ しょくじ いただ とき
誰かの家で食事を頂いた時のドゥアー

اللَّهُمَّ أَطْعِمْ مَنْ أَطْعَمَنِي، وَاسْقِ مَنْ سَقَانِي

アッラーフンマ アトゥイム マン アトゥアマニー ワスキマン サカーニー

わたし しょくじ ほどこ もの しょくじ めぐ
「アッラーよ、私に食事を施した者に食事を恵みた
まえ。そして私に飲み物を与えた者に飲み物を
あた
与えたまえ。」

33 の あと
ミルクを飲んだ後のドゥアー

اللَّهُمَّ بَارِكْ لَنَا فِيهِ، وَزِدْنَا مِنْهُ

アッラーフンマ バーリクラナーフィーヒー ワズィドゥナー ミンフ

わたし しゅくふく
「アッラーよ、それにおいて私たちを祝福し、
わたし ふ くだ
それを私たちに増やして下さい。」



※ 34 ^{とき} イフタルの時のドゥアー ※

ذَهَبَ الظَّمَأُ، وَابْتَلَّتِ العُرُوقُ، وَثَبَّتَ الأَجْرُ إِنْ شَاءَ اللهُ

ザハバツザマウ ワブタツラティルウルーク ワサバタルアジュール インシャーアッラー

のど かわ いや けっかん しめ

「喉の渴きを癒し、血管を湿らせ、そしてアッラーの

おぼ め さいかい ほうしょう

思し召しならば(齋戒の)報奨を

かくじつ

确实なものとなされたまえ。」



た にん せつ とき かんけい
他人と接する時に関係するドゥアー

35 だれ あ とき あいさつ
誰かと会った時の挨拶（サラーム）

السَّلَامُ عَلَيْكُمْ وَرَحْمَةُ اللَّهِ وَبَرَكَاتُهُ

アッサラーム アライクム ワラフマトゥッラーヒ ワバラカートッフ
へいあん じ ひ しゅくふく
「あなたに平安とアッラーの慈悲と祝福が
ありますように。」

へんじ
サラームの返事

وَعَلَيْكُمُ السَّلَامُ وَرَحْمَةُ اللَّهِ وَبَرَكَاتُهُ

ワ アライクムッサラーム ワラフマトゥッラーヒ ワバラカートッフ
へいあん じ ひ しゅくふく
「あなたにも平安とアッラーの慈悲と祝福が
ありますように。」

とき
くしゃみをした時のドゥアー

الْحَمْدُ لِلَّهِ

アルハムドゥリッラー

しょうさん
「アッラーに称讚あれ。」

き ひと へんじ
これを聞いた人の返事

يَرْحَمُكَ اللَّهُ

ヤルハムカッラー

じ ひ た
「アッラーがあなたに慈悲を垂れますように。」

ひと へんじ き とき
くしゃみをした人がこの返事を聞いた時

يَهْدِيكُمْ اللَّهُ وَيُصْلِحُ بِالْكُم

ヤフディークムッラーフ ワユスリフ バーラクム

みちび じょうきょう ただ
「アッラーがあなたを導き、あなたの状況を正して
くだ
下さいますように。」

だれ かんしゃ とき
誰かに感謝をする時

جَزَاكَ اللَّهُ خَيْرًا

ジャザーカッラーフ ハイラー

よ ほうしょう あた
「アッラーがあなたにとっても良き報奨を与えて
くだ
下さいますように。」

لَا بَأْسَ طَهُورٌ إِنْ شَاءَ اللَّهُ

ラーバアサ タフルン イン シャーアッラー

おお もんだい おほ め
「大きな問題ではありません。アッラーの思し召しな
らば、あなたの（罪という）汚れが
きよ
清められますように。」

أَسْأَلُ اللَّهَ الْعَظِيمَ، رَبَّ الْعَرْشِ الْعَظِيمِ أَنْ يَشْفِيكَ

アスアルッラーハルアズィーマ ラッバルアルシル アズィーミ アン ヤシュフィヤカ

わたし いたい いたい ぎょくぎ しゅ
「私は、偉大なるアッラー、偉大なる玉座の主に
いや くだ いの
あなたを癒して下さることを祈ります。」



ばめん かんけい
あらゆる場面に関係するドゥアー

※ ﴿39﴾ ^{りょうしん} 両親 ^{とな} のために唱えるドゥアー ※

رَبِّ اَرْحَمُهُمَا كَمَا رَبَّيْنِي صَغِيرًا

ラッピルハムフマー カマー ラッバヤーニー サギーラー

わたし しゅ わたし ちい とき かれ わたし いくせい
「私の主よ！ 私が小さい時に、彼らが私を育成して
くれたように、彼らに優しくして下さい。」

(アル・イスラー・17：24)

※ ﴿40﴾ ^{わる} 悪いことをしてしまった時 ^{とき} ※

أَسْتَغْفِرُ اللَّهَ

アスタグフィルラー

わたし おゆる こ
「私はアッラーに御赦しを乞います。」

رَبِّ اغْفِرْ لِي

ラッピグフィルリー

わたし しゅ わたし おゆる
「私の主よ、私を御赦してください。」

41 将来しょうらいにやりたいことを言う時い とき

إِنْ شَاءَ اللهُ

インシャーアッラー

「アッラーのおぼめ
の思し召しならば。」

42 良よいことを見たり聞み きいたりした時とき

مَا شَاءَ اللهُ

マーシャーアッラー

「アッラーのお望のぞみで。」

سُبْحَانَ اللهِ

スブハーナッラー

「アッラーに讃たたえあれ。」

43 たいへん じ き 大変な時期のドゥアー

إِنَّا لِلَّهِ وَإِنَّا إِلَيْهِ رَاجِعُونَ

インナーリッラーヒ ワ インナー イライヒ ラージウン

ほんとう わたし ほんとう

「本当に私たちはアッラーのもの、本当に

わたし 私たちは、アッラーの御許へ帰って行きます。」

44 さいなん み ま もの 災難に見舞われた者のドゥアー

إِنَّا لِلَّهِ وَإِنَّا إِلَيْهِ رَاجِعُونَ أَللَّهُمَّ أَجْرُنِي فِي مُصِيبَتِي، وَأَخْلِفْ لِي

خَيْرًا مِّنْهَا

インナーリッラーヒ ワ インナー イライヒ ラージウン

アッラーフンマアジュルニ フィームスィーパティー ワフルフリー ハイラン ミンハー

ほんとう わたし ほんとう

「本当に私たちはアッラーのもの、本当に

わたし 私たちはアッラーの御許へ帰って行きます。

わたし う さいなん
アッラーよ、私が受けた災難において

わたし ほうしょう あた さいなん あと
私に報奨を与え、この災難の後に、

よ わたし さず くだ
それより善いものを私にお授け下さい。」

45 おこ とき 怒った時のドゥアー

أَعُوذُ بِاللَّهِ مِنَ الشَّيْطَانِ الرَّجِيمِ

アウーズ ビッラーヒ ミナッシャイターニッラჯීම

わたし のろ
「私はアッラーに、呪われたシャイターンからの
か ご もと
ご加護を求めます。」

46 らいめい とき 雷鳴の時のドゥアー

سُبْحَانَ الَّذِي يُسَبِّحُ الرَّعْدُ بِحَمْدِهِ، وَالْمَلَائِكَةُ مِنْ خِيفَتِهِ

スブハーナッラズィー ユサッピフッラアドゥ ビハムディヒー

ワルマラーイカトゥー ミン ヒーファティヒー

しょうさん かみなり たた うたねん
「アッラーに称讃あれ、雷はかれを讃えて唱念し、
てんし おそ しょうねん
また天使たちもかれを畏れて唱念する。」

47 あめ ふ とき 雨が降った時のドゥアー

اللَّهُمَّ صَيِّبًا نَافِعًا

アッラーフンマ サイイバン ナーフィアン

ゆうえき あめ ふ くだ
「アッラーよ、有益な雨を降らせて下さい。」

48 あめ や ほ とき 雨が止んで欲しい時のドゥアー

اللَّهُمَّ حَوَّالَيْنَا وَلَا عَلَيْنَا، اللَّهُمَّ عَلَى الْأَكَامِ وَالظَّرَابِ، وَبُطُونِ

الْأَوْدِيَةِ وَمَنَابِتِ الشَّجَرِ.

アッラーフンマ ハワーライナー ワラーアライナー。アッラーフンマ アラルアーカーミ
ワズィラービ ワプトゥーニルアウディヤティ ワマナービティッシャジャル

「アッラーよ、^{わたし} 私^{まうえ}たちの真上^{わたし}ではなく私^{わたし}たちの
^{しゅうい} 周囲^{やま おか}に。アッラーよ、山^{けいこく}や丘^{なえぎ}に、溪谷^{なえぎ}に、苗木^{なえぎ}に。」

49 かぜ ふ とき 風が吹いた時のドゥアー

اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ خَيْرَهَا، وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّهَا

アッラーフンマ インニー アスアルカ ハイラハー ワ アウーズ ビカ ミン シャッリハー

「アッラーよ、私^{わたし}はあなた^{かぜ}に風^よの良きこと^{ねが}を願^{ねが}い、
^{あく} その悪^かから^ごのご加^{もと}護^{もと}を求^{もと}めます。」

※ 50 こんなん やまい とき もと 困難な病にある時に求めるドゥア— ※

اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنَ الْبَرَصِ، وَالْجُنُونِ، وَالْجُدَامِ، وَمِنْ سَيِّئِ

الْأَسْقَامِ.

アッラーフンマ インニー アウーズビカ ミナルバラシ ワルジュヌーニ ワルジュザーミ
ワミン サイイル アスカム

「アッラーよ、あなたに皮膚病や、狂気や、
らい病や、すべての困難な病からの
ご加護を求めます。」

※ 51 さいなん あ もの み とき 災難に遭った者を見た時のドゥア— ※

الْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي عَافَانِي مِمَّا ابْتَلَاكَ بِهِ، وَفَضَّلَنِي عَلَى كَثِيرٍ

مَمَّنْ خَلَقَ تَفْضِيلًا.

アルハムドゥリッラーヒッラズィー アーファーニー ミンマブタラーカビヒー
ワファッダラニー アラー カスィーリン ミンマン ハラカタフディーラー

「降りかかった災難から私を守って下さった、
そして彼が創造された多くのものより
私を尊んで下さったアッラーに称讃あれ。」





あつ

お

よ

集まりの終わりに読むドゥアー



سُبْحَانَكَ اللَّهُمَّ وَبِحَمْدِكَ، أَشْهَدُ أَنْ لَا إِلَهَ إِلَّا أَنْتَ، أَسْتَغْفِرُكَ

وَأَتُوبُ إِلَيْكَ.

スプハーナカッラーフンマ ワビハムディカ アシュハドゥ アッラー イラーハ イッラー アンタ
アスタグフィルカ ワアトゥーブ イライカ

「アッラーよ、あなたに讃えと称讃あれ。

わたし ほか かみ すうはい
私はあなたの他に神(崇拜するもの)がないことを
しょうげん
証言します。

わたし ゆる もと かいご
私はあなたのお赦しを求め悔悟します。」



たび かんけい

旅に関するドゥアー

53 の も の の とき 乗り物に乗る時のドゥアー

بِسْمِ اللَّهِ، الْحَمْدُ لِلَّهِ،

سُبْحَانَ الَّذِي سَخَّرَ لَنَا هَذَا، وَمَا كُنَّا لَهُ مُقْرِنِينَ، وَإِنَّا إِلَىٰ رَبِّنَا

لَمُنْقَلِبُونَ.

الْحَمْدُ لِلَّهِ، الْحَمْدُ لِلَّهِ، الْحَمْدُ لِلَّهِ،

اللَّهُ أَكْبَرُ، اللَّهُ أَكْبَرُ، اللَّهُ أَكْبَرُ.

سُبْحَانَكَ اللَّهُمَّ إِنِّي ظَلَمْتُ نَفْسِي فَاغْفِرْ لِي

فَإِنَّهُ لَا يَغْفِرُ الذُّنُوبَ إِلَّا أَنْتَ.

ビスミッラー アルハムドゥリッラー スプハーナッラズィー サッハラ ラナー ハーザー
ワマー クンナー ラフー ムクリニーン ワ インナー イラー ラッピナー ラムンカリブーン
アルハムドゥリッラー アルハムドゥリッラー アルハムドゥリッラー
アッラーフアクバル アッラーブアクバル アッラーフアクバル
スプハーナカッラーフンマ インニー ザラムトゥ ナフスィー ファグフィルリー ファインナフ
ラーヤグフィルッズヌーバ イッラー アンタ



「アッラーの御名において、アッラーに称讚あれ。

これらのものを私たちに服従させた御方を讃えます。

これは私たち自身で出来なかったことです。

本当に私たちは

私たちの主の御許に必ず帰されるのです。

アッラーに称讚あれ。アッラーに称讚あれ。

アッラーに称讚あれ。

アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。

アッラーは偉大なり。

アッラーよ、あなたに讃えあれ。本当に私は自分自身

に不正を働きました。ですから私を御赦し下さい。

本当に罪を御赦しになれるのは、

あなたの他におりません。」

وَمَا قَدَرُوا اللَّهَ حَقَّ قَدْرِهِ، وَالْأَرْضُ جَمِيعًا قَبْضَتُهُ يَوْمَ الْقِيَامَةِ
وَالسَّمَاوَاتُ مَطْوِيَّاتٌ بِيَمِينِهِ، سُبْحَانَهٗ وَتَعَالَى عَمَّا يُشْرِكُونَ.

ワマー カダルッラーハ ハッカ カドゥリヒー ワルアルドゥ ジャミーアン カブダトゥフー
ヤウマルキヤーマティ

ワッサマーワートゥ マトゥウィーヤートゥン ビヤミーニヒー スプハーナフー ワタアーラー
アンマー ユシュリクーン

かれ しん りきりょう わ
「彼らは、アッラーの真の力量を分かっていません。

しんばん ひ だいち ひとにぎ
審判の日において、かれは大地のすべてを一握りに

し、その右手に諸天を巻くでしょう。

かれ たた かれ はい
かれに讃えあれ。かれは、彼らが配するものの、

はるか上に高くおられます。」

(スーラズマル 39 : 67)

55 たび で ひと い 旅へ出る人が言うドゥアー

أَسْتَوِدِعُكُمْ اللَّهُ الَّذِي لَا تَضِيعُ وَدَائِعُهُ.

アスタウディウクムッラーハッラズィー ラー タディーウ ワダーイウフー

わたし しんたく は き みもと
「私は、信託を破棄することのないアッラーの御許に
あなた方を委ねてお別れします。」

56 たび で ひと い 旅へ出る人に言うドゥアー

أَسْتَوِدِعُ اللَّهُ دِينَكَ وَأَمَانَتَكَ وَخَوَاتِيمَ عَمَلِكَ.

アスタウディウッラーハ ディーナカ ワアマナタカワ ハワーティーマ アマーリカ

わたし しゅうきょう しんたく こうい
「私は、あなたの宗教と信託とあなたの行為の
集大成をアッラーの御許に委ねてお別れします。」

اللَّهُمَّ رَبَّ السَّمَوَاتِ السَّبْعِ وَمَا أَظْلَنَ، وَرَبَّ الْأَرْضِينَ السَّبْعِ
 وَمَا أَقْلَنَ، وَرَبَّ الشَّيَاطِينِ وَمَا أَضْلَلَنَ، وَرَبَّ الرِّيَّاحِ وَمَا
 ذَرَيْنَ، أَسْأَلُكَ خَيْرَ هَذِهِ الْقَرْيَةِ، وَخَيْرَ أَهْلِهَا، وَخَيْرَ مَا فِيهَا،
 وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّهَا، وَشَرِّ أَهْلِهَا، وَشَرِّ مَا فِيهَا.

アッラーフンマ ラッパッサマーワーティッサブイ ワマー アズラルナ ワ ラッバルアラディーナッ
 サブイ ワマー アクラルナ ワ ラッパッシャーティーニ ワマーアドゥラルナ
 ワラッパッリヤーヒ ワマー ザライン アスアルカ ハイラ ハーヅィヒルカルヤティ
 ワハイラ アハリハー ワハイラマーフィーハー ワナウーズ ビカ ミン シャッリハー
 ワシャッリ アハリハー ワシャッリ マーフィーハー

「アッラーよ、7層の天と影が覆うものの主よ、7層
 の大地とそれが運ぶものの主よ、多くのシャイターン
 とそれらが迷わせたものの主よ、風とそれが吹き飛ば
 したものの主よ、私はこの村の良きものとその住人の
 良きものを、そしてそこにある良きものを求めます。
 また私はあなたにその悪とそこにある悪からのご加護
 を求めます。」



لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ وَحْدَهُ لَا شَرِيكَ لَهُ، لَهُ الْمُلْكُ وَلَهُ الْحَمْدُ يُحْيِي
وَيُمِيتُ، وَهُوَ حَيٌّ لَا يَمُوتُ، بِيَدِهِ الْخَيْرُ، وَهُوَ عَلَى كُلِّ

شَيْءٍ قَدِيرٌ.

ラー イラーハ イッラッラーフ ワハダフラー シャリーカラフー ラフルムルク
ワラフルハムドゥ ユフィーワユミートゥ ワフワ ハイユン ラー ヤムートゥ ビヤディヒルハイル
ワ フワ アラー クッリ シャイイン カディール

ゆいいつ おかた ほか かみ すうはい
「唯一なる御方、アッラーの他に神(崇拝するもの)は

なく、かれに並ぶ者はいない。

おうけん しょうさん
かれにこそ王権はあり、かれにこそ称讃はある。

い し かた い し
生かし死なすお方。かれは生きていて死なない。

みて ぜん
かれの御手には善がある。

すべ こと ちから
かれは全ての事に力がある。」



あさ ばん とな
朝と晩に唱えるドゥアー

59 あさ・ばん
朝・晩のドゥアー

بِسْمِ اللَّهِ الَّذِي لَا يَضُرُّ مَعَ اسْمِهِ شَيْءٌ فِي الْأَرْضِ وَلَا فِي
السَّمَاءِ، وَهُوَ السَّمِيعُ الْعَلِيمُ

ビスミッラーヒッターズィー ラー ヤドゥッル マアスミヒー シャイウン フィルアルディ
ワラー フィッサマーイ ワフワッサミーウルアリーム

「その御名みなと共にともあれば、天地てんちにあるいかなるものもがい害
することのないアッラーの御名みなにおいて。
そして彼はすべてを聞き知るお方かたです。」

أَعُوذُ بِكَلِمَاتِ اللَّهِ التَّامَّاتِ مِنْ شَرِّ مَا خَلَقَ

アウーズ ビカリマーティッラーヒッターンマーティ ミン シャッリ マーハラカ
わたし かんぜん みことば かれ つく

「私は完全なるアッラーの御言葉に、彼がお創りに
なられた悪あくからのご加護かごもとを求めます。」



اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ الْعَفْوَ وَالْعَافِيَةَ فِي الدُّنْيَا وَالْآخِرَةِ، اللَّهُمَّ إِنِّي

أَسْأَلُكَ الْعَفْوَ وَالْعَافِيَةَ فِي دِينِي وَدُنْيَايَ وَأَهْلِي وَمَالِي، اللَّهُمَّ

اسْتُرْ عَوْرَاتِي وَآمِنْ رَوْعَاتِي، اللَّهُمَّ احْفَظْنِي مِنْ بَيْنِ يَدَيْ،

وَمِنْ خَلْفِي، وَعَنْ يَمِينِي، وَعَنْ شِمَالِي، وَمِنْ فَوْقِي، وَأَعُوذُ

بِعَظَمَتِكَ أَنْ أُغْتَالَ مِنْ تَحْتِي.

アッラーフンマ インニー アスアルカル アフワ ワルアーフィヤタ フィッドウンヤー
ワルアーヒラ アッラーフンマ インニー アスアルカル アフワ ワルアーフィアタ
フィーディーニ ワドゥンヤーヤ ワアハリー ワマーリー
アッラーフンマストゥル アウラーティ ワアーミン ラウアーティー
アッラーフンマフファズニー ミンバイニ ヤダイヤ ワミン ハルフィー ワアンヤミーニー
ワアンシマーリー ワミンファウキー ワアウーズ ビアザマティカ
アン ウグターラ ミン タハティー

わたし げんせ らいせ ゆる
「アッラーよ、私はあなたに現世と来世における赦し
ぶ じ あんたい ねが わたし
と無事安泰を願います。アッラーよ、私はあなたに
わたし しゅうきょう げんせ かぞく ざいさん ゆる ぶ じ
私の宗教、現世、家族、財産においてお赦しと無事
あんたい ねが わたし ち ぶ かく わたし
安泰を願います。アッラーよ、私の恥部を隠し、私
おそ しず くだ わたし まえ うし さゆう うえ
の恐れをお静め下さい。私の前、後ろ、左右、上から
わたし まち わたし いたい あしもと
私をお守りください。私はあなたの偉大さに、足元
ほうかい たい
から崩壊させられることに対することからの
か ご もと
ご加護を求めます。」



اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنَ الْهَمِّ وَالْحَزَنِ، وَأَعُوذُ بِكَ مِنَ الْعَجْزِ
وَالْكَسَلِ، وَأَعُوذُ بِكَ مِنَ الْجُبْنِ وَالْبُخْلِ، وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ غَلْبَةِ
الدَّيْنِ وَقَهْرِ الرِّجَالِ.

アッラーフンマインニー アウーズ ビカ ミナルハンミ ワルフズン ワアウーズ ビカ
ミナルアジュズィ ワルカサリ ワアウーズビカミナル ジュブニ ワル プフリ ワ アウーズビカ
ミン ガラバティッダイン ワ カハリッラジャーリ

「アッラーよ！私わたしは悩みなやと悲しみかなからあなたのごかご加護
を求めます。また私わたしは無力むりょくさと怠惰たいだからあなた
のごかご加護もとを求めます。また私わたしは臆病おくびょうさと吝嗇りんしょくからあな
たのごかご加護もとを求めます。そして私わたしは、借金しゃっしんの重荷おもにに
あつとう こと ひとびと わたし あっせい よう こと
圧倒される事や人々が私わたしをあつせい压制する様な事から
あなたのごかご加護もとを求めます。」



اللَّهُ لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ الْحَيُّ الْقَيُّومُ، لَا تَأْخُذُهُ سِنَّةٌ وَلَا نَوْمٌ، لَهُ مَا فِي
 السَّمَاوَاتِ وَمَا فِي الْأَرْضِ، مَنْ ذَا الَّذِي يَشْفَعُ عِنْدَهُ إِلَّا بِإِذْنِهِ،
 يَعْلَمُ مَا بَيْنَ أَيْدِيهِمْ وَمَا خَلْفَهُمْ، وَلَا يُحِيطُونَ بِشَيْءٍ مِّنْ عِلْمِهِ
 إِلَّا بِمَا شَاءَ، وَسِعَ كُرْسِيُّهُ السَّمَاوَاتِ وَالْأَرْضَ، وَلَا يَئُودُهُ
 حِفْظُهُمَا، وَهُوَ الْعَلِيُّ الْعَظِيمُ.

アッラーフ ラーイラーハイッラー フワル ハイユルカイユーム ラータアフズフー スィナトゥン
 フラーナウム ラフマーフィッサマー ワーティ ワ マーフィルアルドゥ マンザッラズィー
 ヤシュファウインダフー イッラー ビズニヒー ヤアラムマー バイナアイディーヒム
 ワマーハルファフム フラーユヒートゥーナ ビシャイイン ミンイルミヒー
 イッラービマーシャー ワスィアクルスィーユフッサマーワーティ ワルアルドゥ
 フラーヤウードフー ヒフズフマー ワフワルアリーユルアズィーム

「アッラー、かれの外に神はなく、永生えいせいに自存じそんされる
 御方おかた。仮眠かみんも熟睡じゅくすいも、かれをとらせることは出来な
 い。天てんにあり地ちにある凡すべてのものは、かれの有ゆうであ
 る。かれの赦ゆるしなくして、誰だれかかれの御赦おゆるしで執成とりなす
 ことができようか。かれは（人ひとびとの）以前いぜんのことも
 以後いごのこともしも知ごっておられる。かれの御意志いしに適かなっ

たことの外、^{ほか} ^{かれ} 彼らはかれの御知識に就いて、^{なに} ^{えとく} 何も会得
するところはないのである。かれの^{ぎよくざ} ^{すべ} ^{てん} 玉座は、凡ての天
と^ち ^{おお} ^{ひろ} 地を覆って広がり、この2つを^{まも} ^{つか} ^{おぼ} 守って、疲れも覚え
られない。かれは^{しこう} ^{しだい} 至高にして、至大であられる。」

(スーラ・バカラ：255)



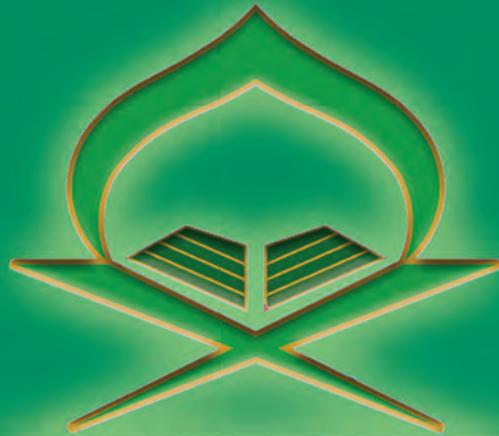


あんき きろく
暗記したドゥアーの記録

ドゥアーの番号 <small>ばんごう</small>	日付 <small>ひづけ</small>	先生のサイン <small>せんせい</small>	両親のサイン <small>りょうしん</small>
01			
02			
03			
04			
05			
06			
07			
08			
09			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

ドゥアーの番号 <small>ばんごう</small>	日付 <small>ひづけ</small>	先生のサイン <small>せんせい</small>	両親のサイン <small>りょうしん</small>
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			





HYOGO MASJID

JAN ACADEMY

兵庫マَسْجِد

www.janfoundation.jp